

資料編

第2次小林市国際化・多文化共生推進計画策定の策定の経過

日付	種類	内容
令和7年8月29日	第1回小林市国際化・多文化共生推進計画 庁内調整会議	○小林市国際化・多文化共生推進計画の概要及び現状の説明 ○アンケート内容の確認について
令和7年9月8日～ 9月30日	小林市在住外国人 アンケート	○市民アンケート (対象者：809人 回収率31.5%)
		○企業向けアンケート (対象企業：63件 回収率53.9%)
令和7年10月1日	第1回小林市国際化・多文化共生推進計画 庁内調整会議 ワーキンググループ	○第2次小林市国際化・多文化共生推進計画の概要及び現状の説明
令和7年10月16日	第2回小林市国際化・多文化共生推進計画 庁内調整会議 ワーキンググループ	○具体的な施策の調査結果について ○アンケート回答について
令和7年10月29日	第1回小林市国際化・多文化共生推進計画 策定市民会議	○これまでの経緯およびスケジュールについて ○第2次小林市国際化・多文化共生推進計画(素案)について
令和7年11月10日	第2回小林市国際化・多文化共生推進計画 策定市民会議	○第2次小林市国際化・多文化共生推進計画(素案)について
令和7年11月13日	第2回小林市国際化・多文化共生推進計画 庁内調整会議	○第2次小林市国際化・多文化共生推進計画(素案)について
令和7年11月21日	小林市国際化・多文化共生推進計画 策定市民会議	○提言書の提出
令和7年12月10日	議会 総務文教委員会報告	○これまでの経緯 ○第2次小林市国際化・多文化共生推進計画(素案)について

小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議設置要綱

令和元年7月4日

告示第26号

(設置)

第1条 本市における国際化及び多文化共生に関する施策を推進するための計画(以下「推進計画」という。)の策定に当たり、関係者の意見を幅広く反映するため、小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議(以下「市民会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画に関する市民の意見の集約及び分析に関すること。
- (2) 推進計画の策定についての提言に関すること。
- (3) その他推進計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市内経済団体に所属する者
- (2) 技能実習生受入企業に所属する者
- (3) 観光DMO関係団体に所属する者
- (4) 地域医療関係団体に所属する者
- (5) 地域コミュニティ団体に所属する者
- (6) 日本語ボランティア活動を行う者
- (7) 在住外国人
- (8) 労働関係機関の職員
- (9) 市立小中学校の校長

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から推進計画の策定完了の日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 市民会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。

2 市民会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(成果の報告)

第7条 会長は、市長に対し、市民会議の所掌に係る成果を報告しなければならない。

(庶務)

第8条 市民会議の庶務は、地方創生課において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議

【順不同・敬称略】

No.	委員会役職名	氏名	団体等役職名
1	会長	永山 理恵	小林商工会議所 総務課長
2	副会長	花本 大介	有限会社南海服装 代表取締役
3	委員	四位 嘉奈代	有限会社四位農園 代表取締役常務
4	委員	佐藤 仁	佐藤漬物工業株式会社 専務取締役
5	委員	赤木 夏海	小林まちづくり株式会社 観光推進部
6	委員	遊木 裕人	一般社団法人 西諸医師会
7	委員	新満 清孝	小林市区長会 細野1区区長
8	委員	新村 りか	日本語ボランティア
9	委員	李 妍	在住外国人
10	委員	馬崎 信行	小林市公共職業安定所 職業指導官
11	委員	中條 隆裕	小林市校長会

小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議設置要綱

令和元年7月4日

告示第27号

(設置)

第1条 本市における国際化及び多文化共生に関する施策を推進するための計画(以下「推進計画」という。)の策定及び実施に当たり、庁内の総合調整を行うため、小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議(以下「調整会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 調整会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画の基本的な企画立案に関すること。
- (2) 推進計画の進捗管理に関すること。
- (3) その他推進計画の策定及び実施に係る庁内の総合調整に関すること。

(組織)

第3条 調整会議は、会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は、地方創生課長をもって充てる。
- 3 委員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。

(会長)

第4条 会長は、会務を総理し、調整会議を代表する。

- 2 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 調整会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。

- 2 調整会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

(ワーキンググループ)

第6条 推進計画の策定及び実施に関する調査及び研究を円滑に行うため、調整会議にワーキンググループを設置する。

- 2 ワーキンググループは、グループ長及びグループ員をもって組織する。
- 3 グループ長は、地方創生課長が指名する地方創生課主幹をもって充てる。
- 4 グループ員は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 ワーキンググループの会議は、必要に応じてグループ長が招集し、議長となる。

(庶務)

第7条 調整会議の庶務は、地方創生課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

別表第1(第3条関係)

危機管理課長
商工観光課長
人権同和对策監
生活環境課長
健康推進課長
こども課長
学校教育課長
社会教育課長

別表第2(第6条関係)

危機管理課長が指名する危機管理課主幹
商工観光課長が指名する商工観光課主幹
人権同和对策監が市民課長の承認を得て指名する市民課主幹
生活環境課長が指名する生活環境課主幹
健康推進課長が指名する健康推進課主幹
こども課長が指名するこども課主幹
学校教育課長が指名する学校教育課主幹
社会教育課長が指名する社会教育課主幹

小林市国際化推進に係る外国人市民・企業向けアンケート調査結果

I 外国人市民・企業向けアンケートの概要

1 調査の目的

外国人市民が暮らしやすいまちづくりを進めるために、外国人市民および雇用企業にアンケートを実施することで、現状と課題、ニーズを把握し、今後の外国人市民支援事業の実施につなげることを目的として実施した。

2 調査対象者

【外国人市民向けアンケート】

令和7年8月1日現在、小林市住民基本台帳に登録している18歳以上の外国人市民

住基人口	18歳以上の外国人市民	割合(%)	上位国籍別外国人人口				
			インドネシア	ベトナム	ミャンマー	フィリピン	中国
41,423	809	1.9	282	221	110	71	41

*上位5ヶ国のみ

【企業向けアンケート】

企業訪問を行ったことがある企業および協力確認書の提出があった企業 63社

3 調査方法と調査期間

【外国人市民向けアンケート】

- ・ 郵送配布、QRコード・持参・郵送による回答
 - ・ 令和7年9月8日（月曜）～令和7年9月30日（火曜）の23日間
- ※オンラインフォームを、日本語、やさしい日本語、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語、インドネシア語で作成。

【企業向けアンケート】

- ・ 郵送配布、メールまたはファックスによる回答
- ・ 令和7年9月8日（月曜）～令和7年9月30日（火曜）の23日間

4 調査項目

【外国人市民向けアンケート】（5項目44問）

- (1) 回答者の属性について
- (2) 普段の生活について
- (3) 日本語能力について
- (4) 医療について
- (5) 市の外国人支援について

【企業向けアンケート】(2項目18問)

- (1) 企業の現状について
- (2) 小林市国際化・多文化共生の取組について

5 回収結果

【外国人市民向けアンケート】

- (1) 配布数 809 件
- (2) 有効配布数 796 件 (13 件が宛先不明で返送)
- (3) 回答数 251 件
- (4) 回収率 31.5%

表1 国籍別回答者数

国籍	インドネシア	ベトナム	フィリピン	中国・台湾	ミャンマー	アメリカ	その他
人数(%)	135 (54)	72 (29)	11 (4)	5 (2)	18 (7)	1 (0.4)	9 (3.6)

【企業向けアンケート】

- (1) 配布数 63 件
- (2) 回答数 34 件
- (3) 回収率 53.9%

6 その他

複数回答設問の集計は、当該設問に回答すべき人数を集計母数として、各選択肢の各回答比率を求めているため、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

II 調査結果の概要

【外国人市民向けアンケート】

1 回答者の属性

回答者の75%以上が女性であり、国籍は、「インドネシア」、「ベトナム」、「ミャンマー」が多くなりました。在留資格は、「技能実習生」が最も多く、次いで「特定技能」でした。

2 普段の生活について

「普段の生活で困っていることや、心配なこと」は「言葉が十分に通じない」が最も多い回答であり、「文化や習慣の違い」という回答も比較的多くみられました。「言葉が十分に通じない」と回答した中では、特に「病院へ行ったとき」「銀行や郵便局へ行ったとき」「地域や学校などのお知らせを読むとき」に困ったと回答した人が多くみられました。

3 日本語能力について

日本語を勉強している人は76.9%であり、「ひとりで勉強している」人が最も多いという結果になりました。日本語を勉強していない理由は、「日本語ができる」「勉強する時間がない」が同じような割合でした。また、学習にあたって最も重要視することは、「希望する時間に指導が受けられること」、次に「自宅や職場に近いところ」で学習することでした。

4 医療について

病院で困ったことや不安に感じたことは、「身体の状態を詳しく説明すること」、「医師や看護師の説明を聞くとき」、「書類の内容が分からず読めない」、「問診票や入院書類の記入」でした。また、医療サービスとして希望することは、「問診票の多言語表記」、「案内板の多言語表記」、「通訳」、「ひらがなを振ること」でした。「通訳」に関しては有料でも通訳サービスを利用したいと回答した人が88%になりました。

5 市の支援について

市の広報紙やお知らせを「読んでいる」が33.5%、「時々読んでいる」が37.5%、「読んでいない」が31.9%。その中で、広報紙を読んでいない理由として、「日本語が分からないので読まない」と回答した方が多くなりました。また、「市からのお知らせで多言語表記を希望するもの」は、「健康診断のお知らせ」「広報こぼやし・お知らせ版」、「防災ガイドブック」「市の防災メール」でした。

「外国人の方にも暮らしやすい小林市にするために必要なこと」は、「多言語での情報提供」、「日本語を勉強できる機会を増やす」、「病院での通訳や翻訳」、「公共施設での通訳翻訳」でした。

【企業向けアンケート】

1 企業の現状について

外国人材を雇用している企業の業種は「製造業」が一番多く、次に「農業」が多くなっていました。現在、雇用している外国人従業員は5名以下の企業が一番多く、国籍は、「インドネシア」と「ベトナム」で半数以上を占める結果となりました。

今後、5年間の外国人材の受け入れ見込みについては、多くの企業が「大幅に増やす（2倍程度）」もしくは、「ある程度増やす（1.5倍程度）」となっていました。

外国人材を雇用する課題は、「日本語力不足（読み・書き）」、「コミュニケーション」、「生活面でのフォロー」などをあげました。外国人従業員の悩みや困りごとを解決する方法として、半数以上が「管理団体・受入支援機関に相談」と回答しました。

2 小林市国際化・多文化共生の取組について

76%が小林市国際化・多文化共生推進計画が策定されたこと、国際化推進コーディネーターがいることを知らなかったと回答しました。

小林市の国際化・多文化共生施策でこれから期待することは、「災害・緊急時の支援」、「防災メールの周知・やさしい日本語や多言語での防災ガイドブック」、「外国人従業員研修会への講師派遣（ごみの出し方、交通安全、防災、税金、保険など）」と回答がありました。

また、企業からの意見として、「都市部と比較して賃金が低いため、1年程度ですぐに都会へと転職していく方が多い。」、「技能実習生や特定技能の空いている市営住宅への入居をご検討いただきたい。」などがありました。

Ⅱ 調査結果の概要

【外国人市民向けアンケート】

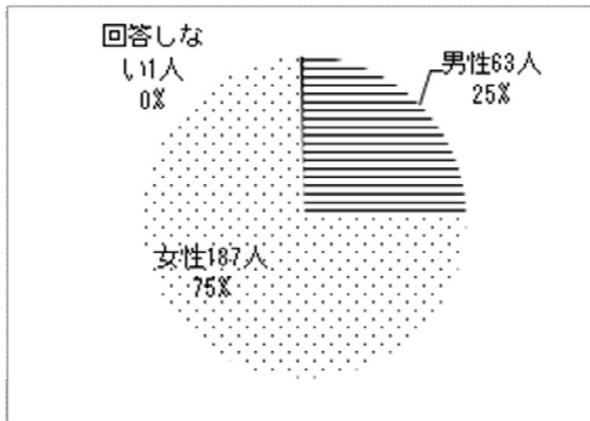
1. あなたのことについて

回答者の約7割は女性。国籍は「インドネシア国籍」が最多

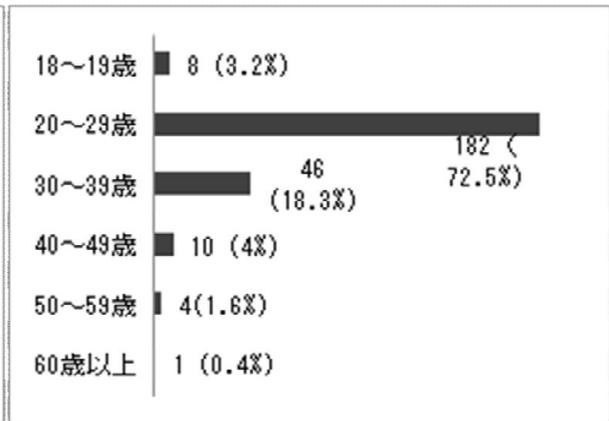
回答者の75%が女性で、国籍別では、多い順に「インドネシア」が54%、「ベトナム」が29%、「ミャンマー」が7%でした。

これまで本市には、「ベトナム国籍」の外国人が多く本市に在住しており、「インドネシア国籍」の外国人はほとんどいませんでしたが、今回の調査（令和7年度）では、「ベトナム国籍」の外国人が一番多くなりました。

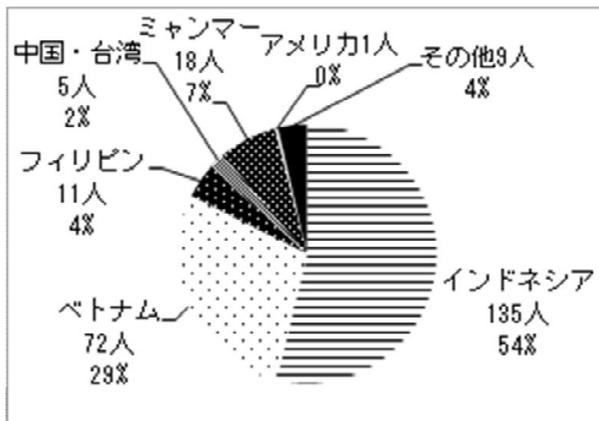
問1. あなたの性別は？ 【〇は1つ】



問2. あなたの年齢は？ 【〇は1つ】



問3. あなたの国籍は？ 【〇は1つ】

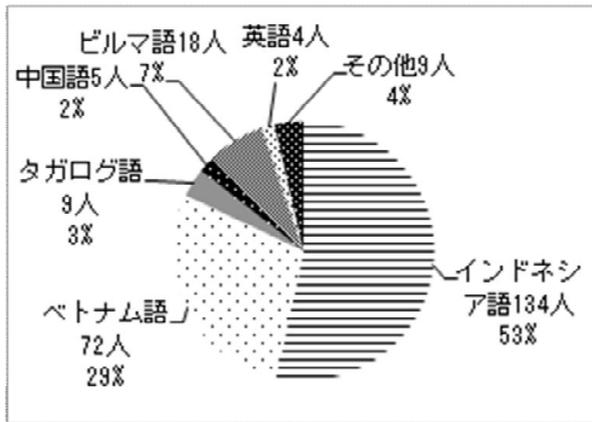


在留資格は「技能実習生」が多く、約9割の回答者が30歳以下

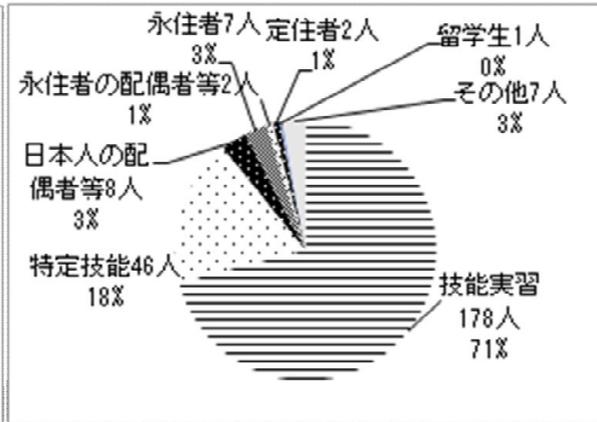
また、在留資格は、「技能実習生」が最も多く、次いで「特定技能」となりました。年代別では20代（182人）、30代（46人）、40代（10人）が94.8%を占めています。

外国人市民の母語としては、インドネシア語を母語とする外国人市民が134人、ベトナム語が72人、ビルマ語が18人となっています。在留資格で一番多いのが、技能実習生（178人）、特定技能（46人）、88%を占めています。

問4. あなたの母語は何ですか？【〇は1つ】



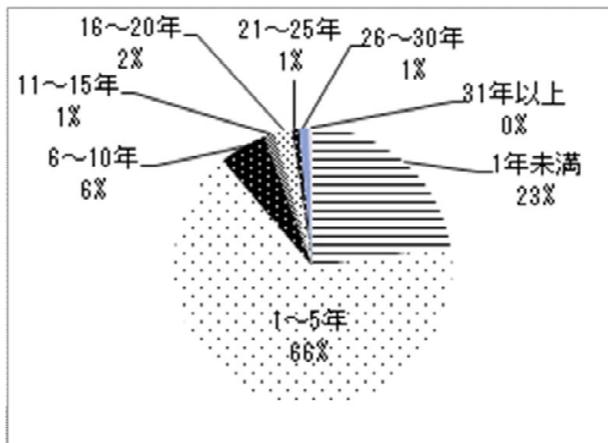
問5. あなたの在留資格は？【〇は1つ】



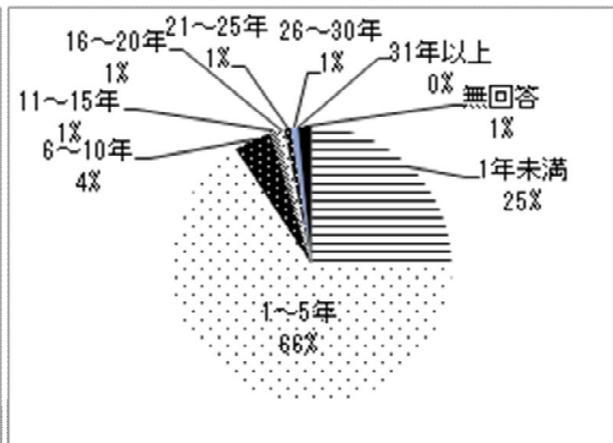
約9割の外国人市民が非漢字圏の出身者で、在住歴が5年未満の外国人市民が約8割

日本での居住年数は、「1～5年」が66%、「1年未満」が23%、「6～10年」が6%で全体の95%を占めています。

問6. あなたはこれまで、日本に何年住んでいますか。【〇は1つ】



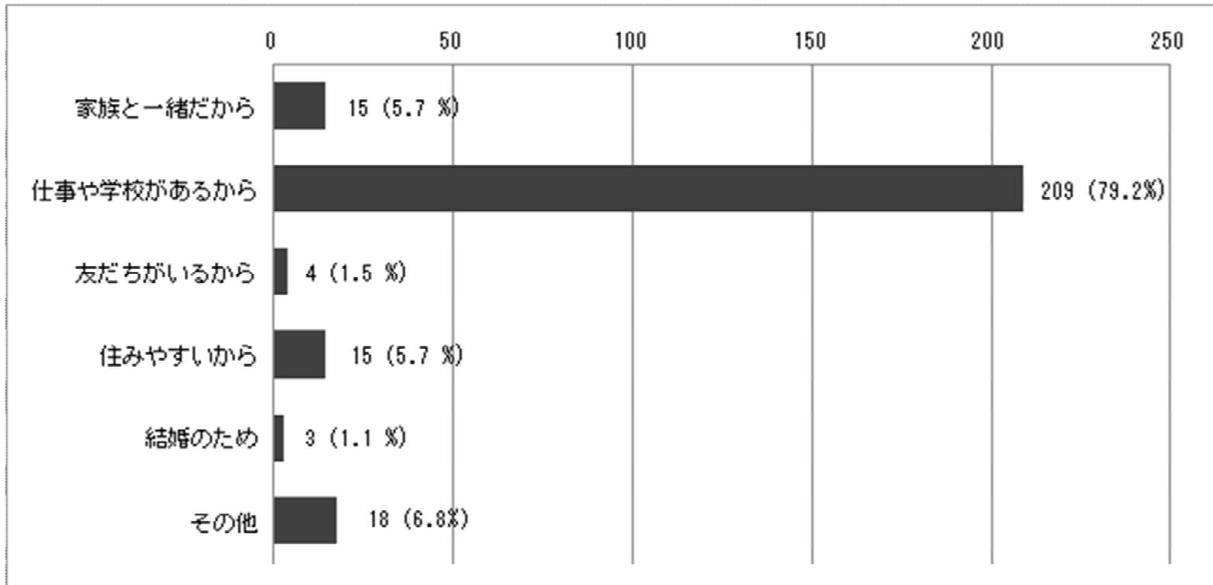
問6. 小林市に何年住んでいますか？【〇は1つ】



約8割の人が小林市に住んでいる理由は、「仕事や学校があるから」と回答

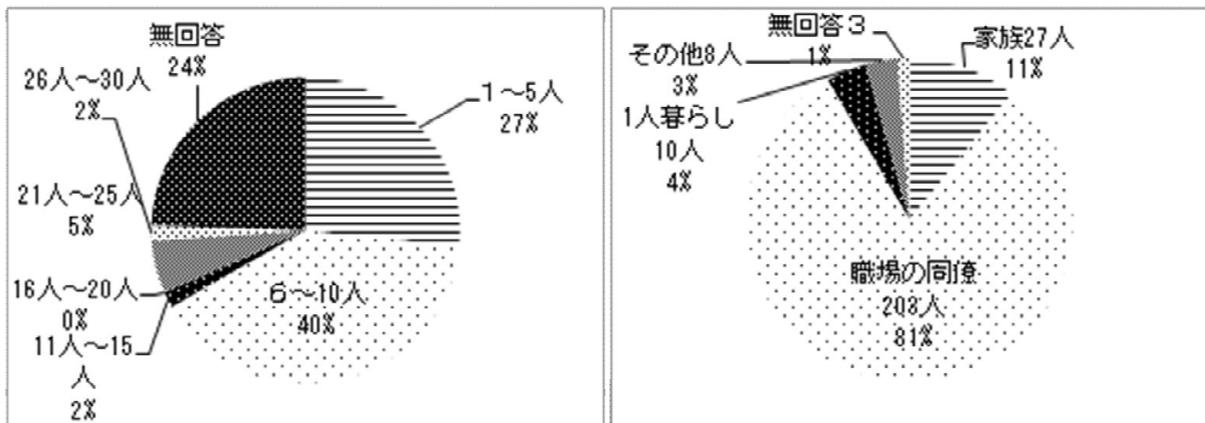
小林市に住んでいる理由として、「仕事や学校があるから」が79.2%、「住みやすいから」、「家族と一緒にだから」がどちらも5.7%でした。

問7. あなたが小林市に住んでいる理由は？【〇はいくつでも】



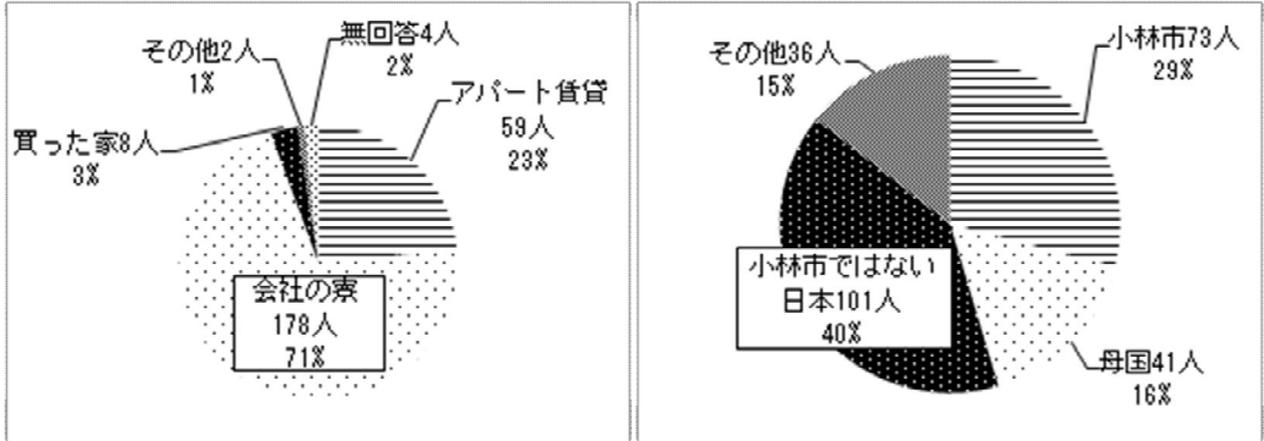
「現在、あなたは何人で住んでいますか？また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか？」という問いに、「6～10人」が40%、「1人～5人」が27%でした。「複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか？」という問いに、「職場の同僚」が203人で、全体の81%の回答者が同僚と住んでいると回答しました。

問8 現在、あなたは何人で住んでいますか。また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか。【〇はいくつでも】



「現在、あなたはどこに住んでいますか」という質問に、「会社の寮」が178人、「アパート・賃貸」が59人という回答でした。「あなたはこれからどこに住みたいですか」という質問に、「日本」と回答した人が40%、次いで「小林市」が29%、「母国」と回答した人が16%になりました。

問8-1 現在、あなたはどこに住んでいますか？【〇は1つ】 問8-2 あなたはこれからどこに住みたいですか？【〇は1つ】

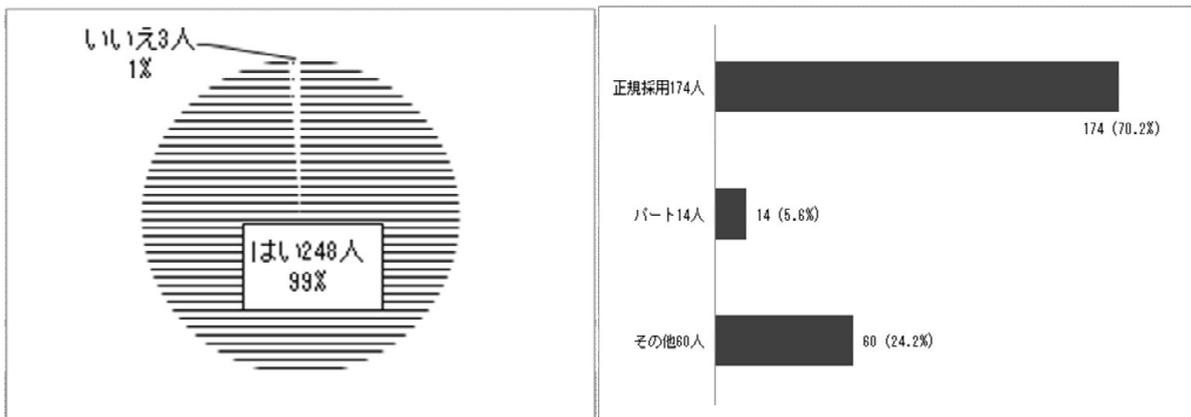


9割以上の方が「現在働いている」と回答し、そのうち約7割の回答者の雇用形態は「正規採用」と回答

雇用環境では、「現在働いていますか」という問いに、99%の回答者が「はい」と回答。そのうちの174人（70.2%）の雇用形態は「正規採用」でした。

問9 現在、あなたは働いていますか。【〇は1つ】

雇用形態は？【〇は1つ】

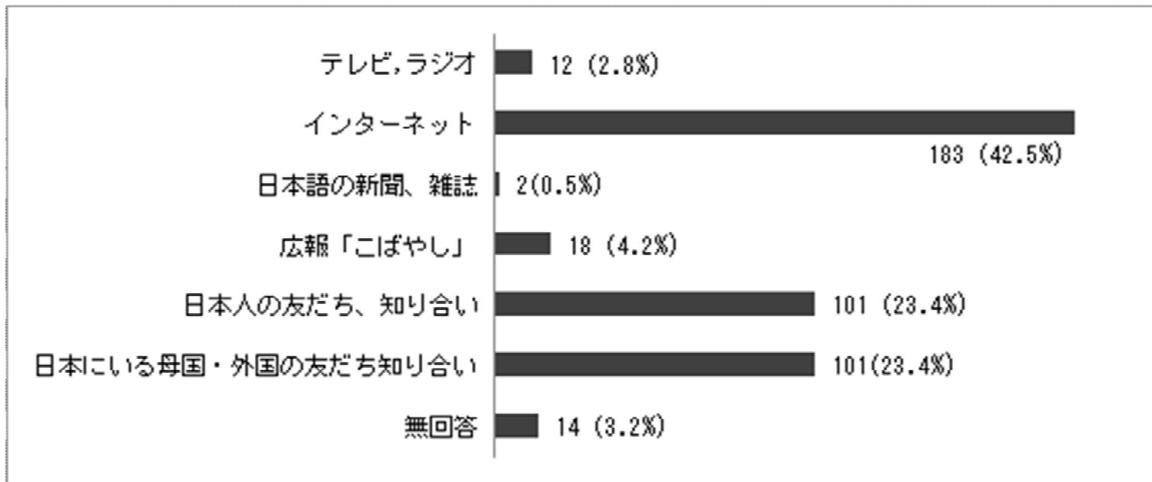


2. 普段の生活について

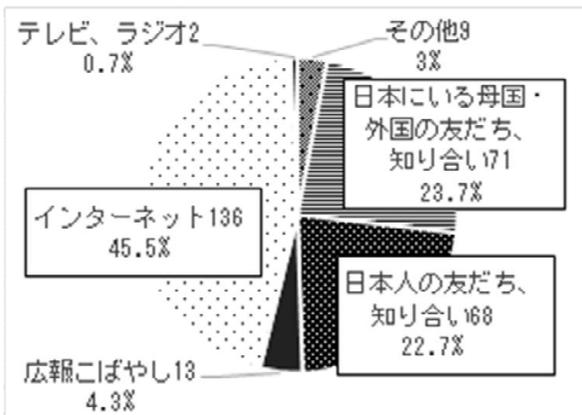
約4割の外国人市民は生活に必要な情報は「インターネット」から得ている。

生活に必要な情報の入手先（複数回答）は、「インターネット」が42.5%、「日本人の友だち・知り合い」と「日本にいる母国、外国の友だち、知り合い」がどちらも23.4%でした。在留資格別で見ると、技能実習生は約76%、特定技能は約60%が「インターネット」から情報を得ており、永住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者は、「テレビ・ラジオ」「日本人の友だち・知り合い」と「インターネット」と幅広い領域で情報を入手していることがわかります。

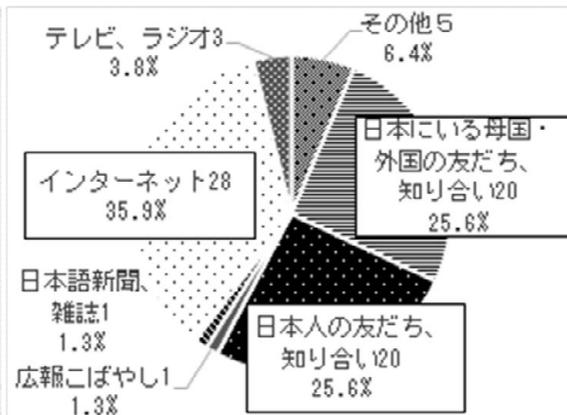
問10 小林市での生活に必要な情報の入手方法は？【〇は3つまで】



在留資格別情報入手の方法：技能実習生 n=178



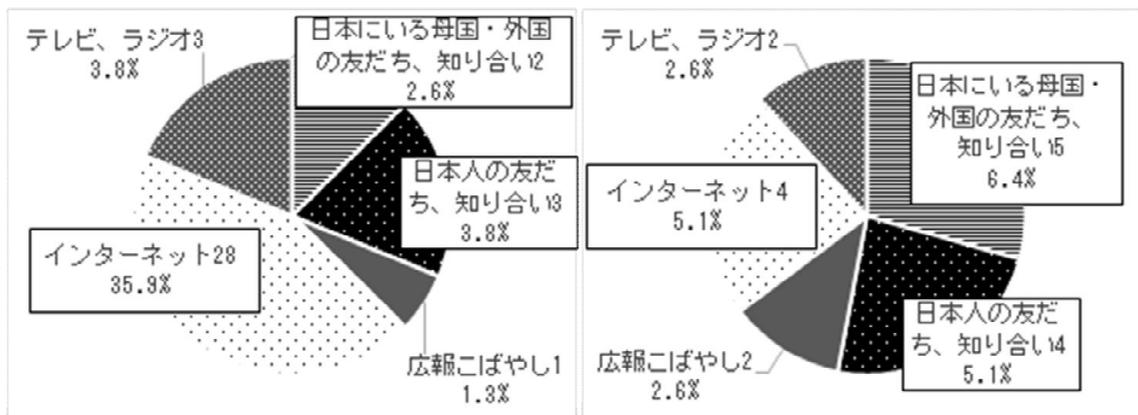
在留資格別情報入手の方法：特定技能 n=46



資料編

在留資格別情報入手の方法：永住者 n=7

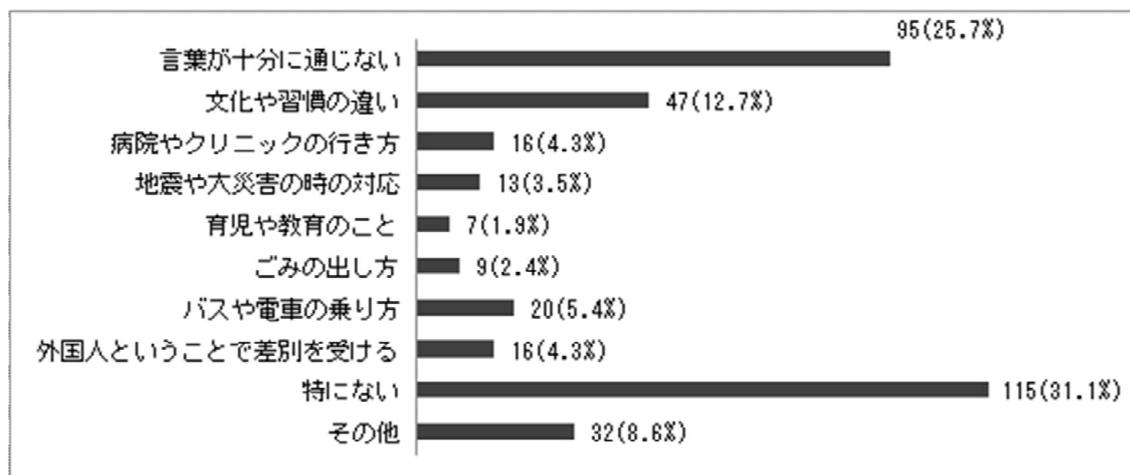
在留資格別情報入手の方法：日本人の配偶者等 n=8



「普段の生活で困っていることや心配なこと」は「言葉が十分に通じない」と回答した外国人市民が多かった。

「普段の生活で困っていることや、心配なことは？」という問いに、「特にない」が31.1%、「言葉が十分に通じない」が25.7%、「文化や習慣の違い」が12.7%という結果でした。

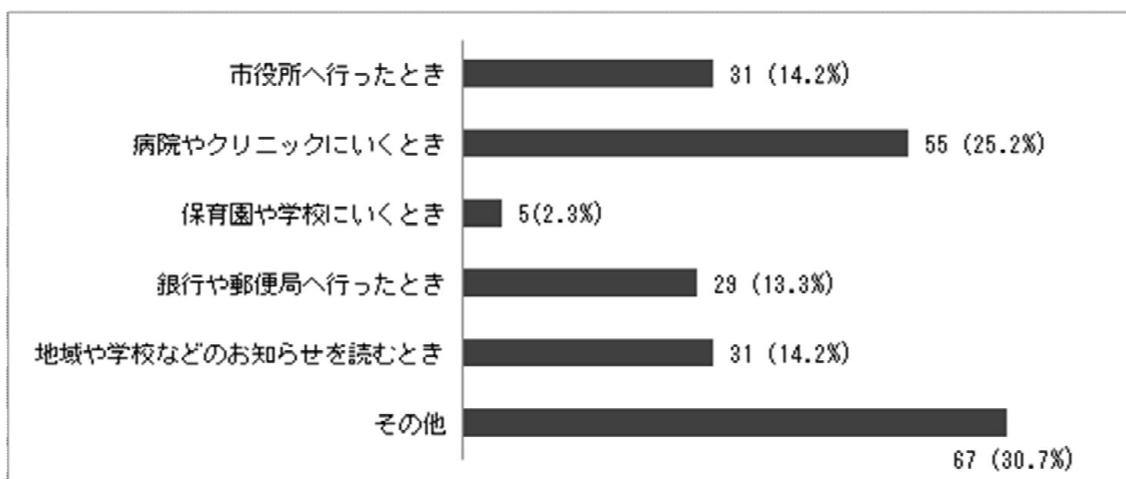
問11 普段の生活で困っていることや、心配なことは？【〇はいくつでも】



「言葉が十分に通じない」と回答した中で、約25%の人が「病院へ行ったときに」困ったことがあると回答

「言葉が十分に通じない」ことが生活する上で困っていると回答した人の中で、どんな場面で特に困るかという問いに、25.2%の人が「病院やクリニックへいくとき」、13.3%の人が「銀行や郵便局へ行ったとき」、14.2%の人が「地域や学校などのお知らせを読むとき」、「市役所へ行ったとき」に困ると回答しました。

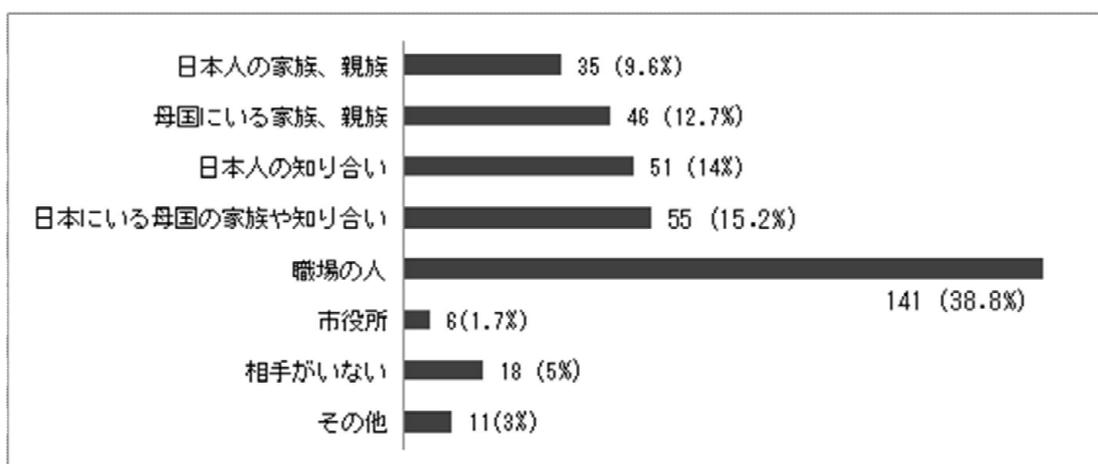
問11-1 問11で「1 言葉が十分に通じない」と選んだ方にお聞きします。あなたは、どんな時に言葉が通じなくて（わからなくて）困りますか。【〇はいくつでも】



約7割の人は困ったことや心配なことがあるとき、「職場の人」に相談すると回答

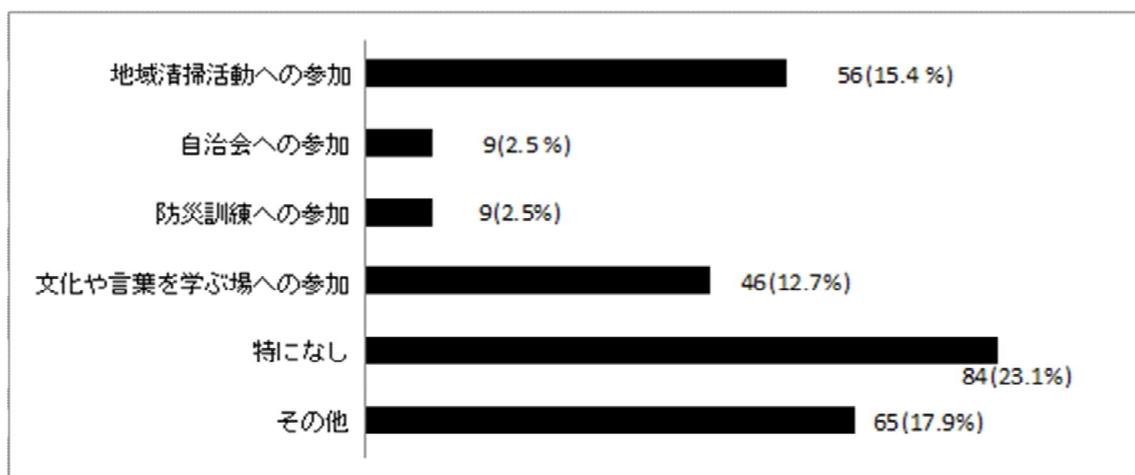
「困ったときや心配なことがあったときは、誰に相談しますか」という問いに、「職場の人」が38.8%、「日本にいる母国の家族や知り合い」が15.2%、「日本人の知り合い」が14%という回答でした。外国人市民は、身近にいる人に相談する傾向があるとこの結果からわかりました。

問12 困ったことや心配なことがあったときは、誰に相談しますか。【〇はいくつでも】



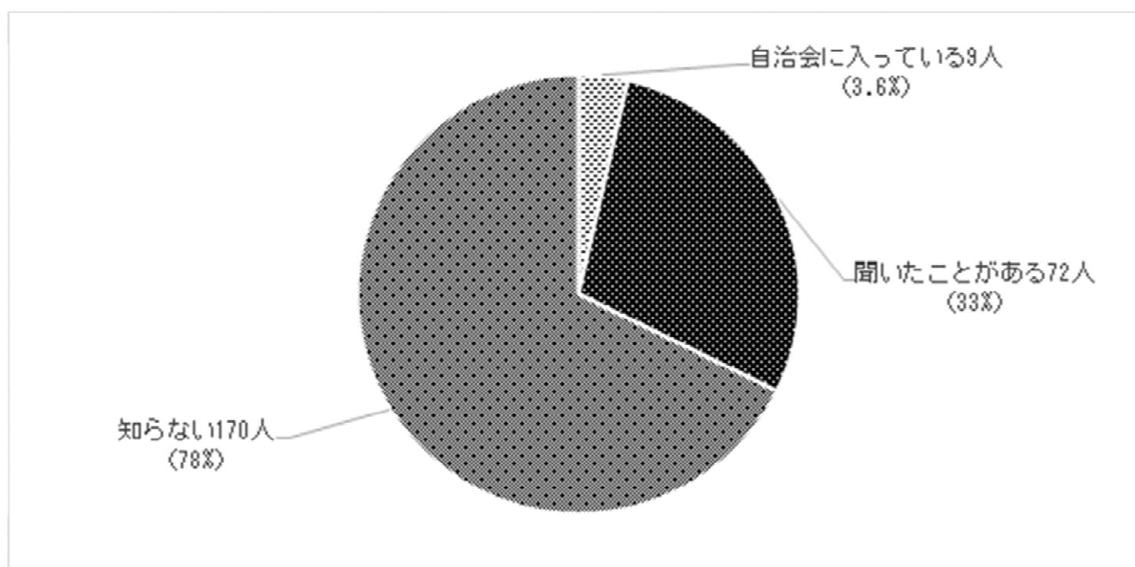
「あなたは地域の人とどのように関わっていますか」という問いに、「特になし」が23.1%、「地域清掃活動への参加」が15.4%、「文化や言葉を学ぶ場への参加」が12.7%となりました。

問13 あなたは地域の人とどのように関わっていますか。【〇はいくつでも】



「自治会を知っていますか」という問いに対して、「知らない」が78%と最も多く、「聞いたことがある」が33%、「自治会に入っている」が3.6%となりました。

問14 自治会を知っていますか。【〇は1つ】



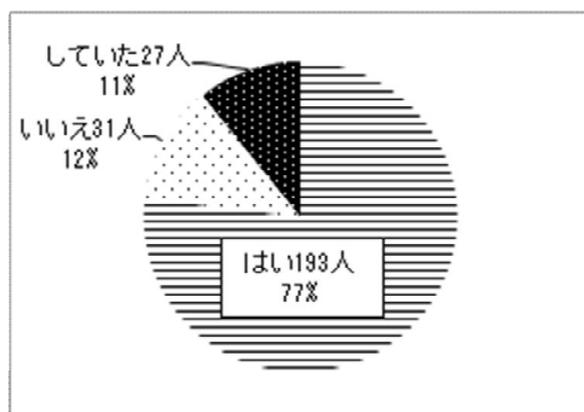
3. 日本語能力について

約8割の人が「日本語を勉強している」や「勉強していた」と回答

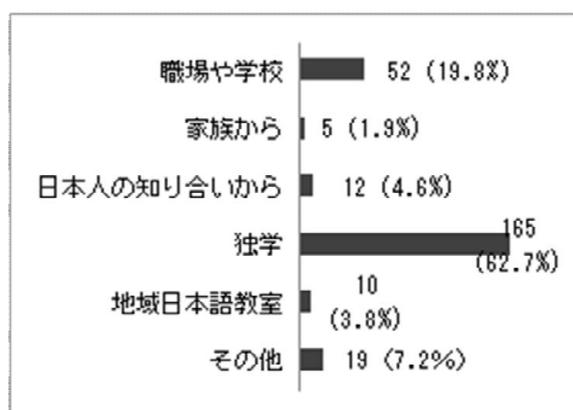
「現在日本語を勉強していますか？」という問いに、日本語を勉強していないという人は12%でしたが、日本語を勉強している人と日本語を勉強していた人を合わせると、約8割になりました。

日本語の勉強方法としては、「ひとりで勉強している」が最も多く62.7%、「職場・学校の日本語研修」が19.8%、「日本人の知り合いから」が4.6%、「家族から」1.9%という結果でした。また、「勉強していない」理由は、「勉強する時間がない」が16.2%、「日本語ができる」が14.4%でした。また、かつて勉強していた人が現在勉強していない理由としては、「仕事や学校に行くため時間がなくなった」が25.3%、「日本語ができるようになった」が7.1%でした。

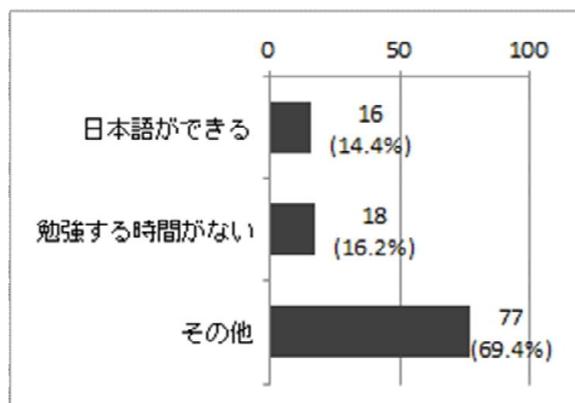
問 15 現在、日本語を勉強していますか。【Oは1つ】



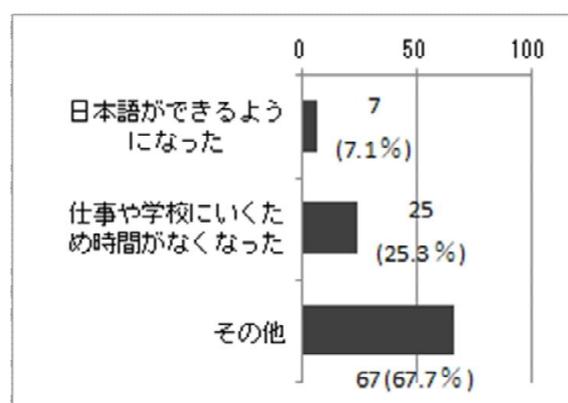
問 15-1 問 15 で「1 はい」を選んだ方にお聞きします。どこで日本語を勉強していますか。【Oはいくつでも】



問 15-2 問 15 で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。勉強していない理由は？【Oはいくつでも】



問 15-3 問 15 で「3 していた」を選んだ方にお聞きします。日本語の勉強をやめた理由は？【Oはいくつでも】



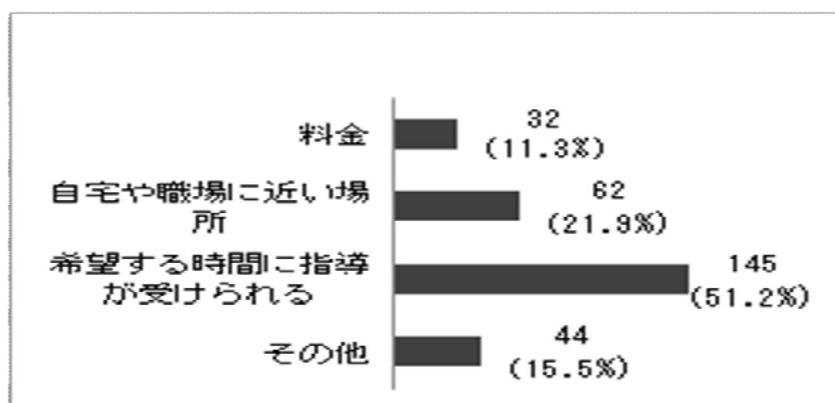
約5割の人が、「希望する時間に指導が受けられる」と「仕事に役立つ日本語」と「日常生活に役立つ日本語」を学習できることが、日本語学習をする際に最も重要視する点であると回答

約6割の外国人市民が、週末の午前中か夜に日本語を学習することを希望

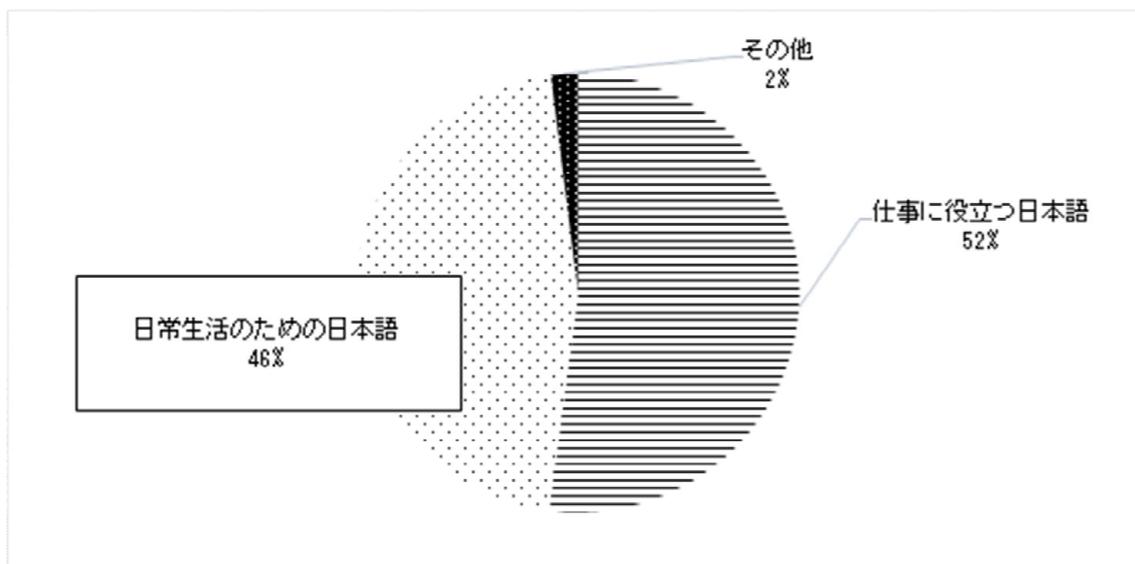
「日本語を学習する際、あなたが最も重要視することは何ですか（2つまで選択可）」という問いには、「希望する時間に指導が受けられること」が51.2%、「自宅や職場に近い場所」が21.9%となりました。52%の回答者が「仕事に役立つ日本語」を学習したいと回答し、46%が「日常生活のための日本語」を学習したいと回答しました。

日本語教室の希望曜日は、「日曜日」が32.9%、「土曜日」が31.8%でした。希望する時間帯は「夜」が50.2%、「午前中」と回答した人が21.5%という結果になりました。

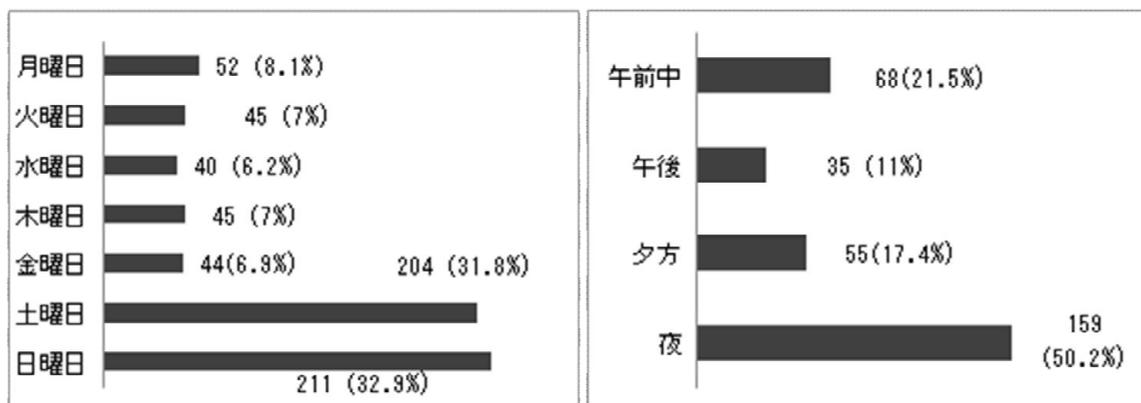
問16 日本語を学習する際、あなたが最も重要視することは何ですか？【〇は2つまで】



問16-1 日本語を学習する際、あなたが希望することは何ですか？【〇は2つまで】

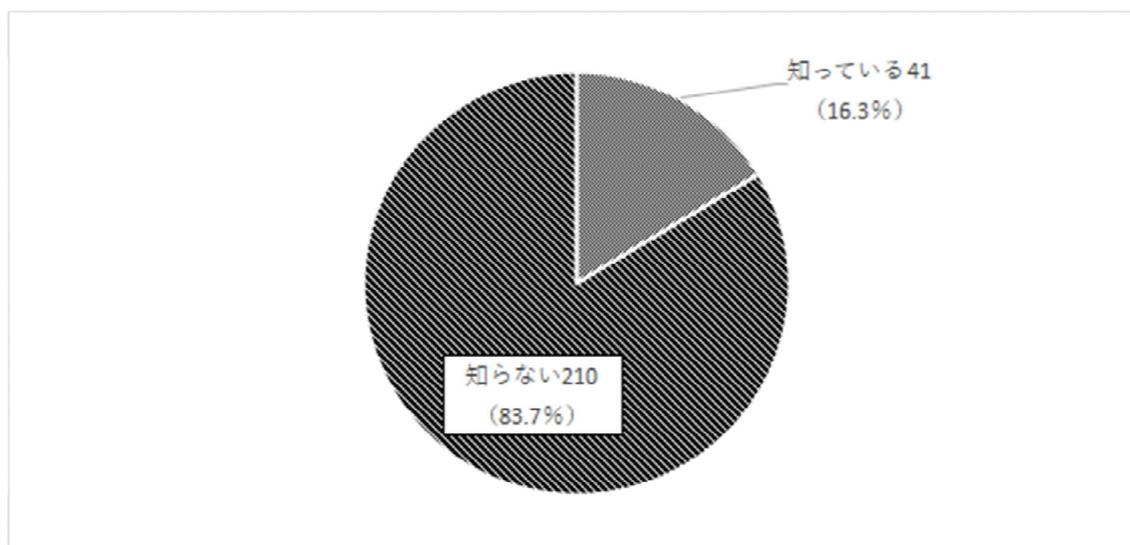


問 16-2 日本語を学習する際の曜日と時間帯の希望は？【〇はそれぞれ2つまで】



「地域日本語教室 KIZUNA を知っていますか」という問いに対し、「知らない」が 83.7%、「知っている」が 16.3%という結果になりました。

問 17 小林市にある地域日本語教室 KIZUNA を知っていますか。【〇は1つ】



4. 医療について

約6割の人が病院には「日本語ができる人と一緒に行く」と回答

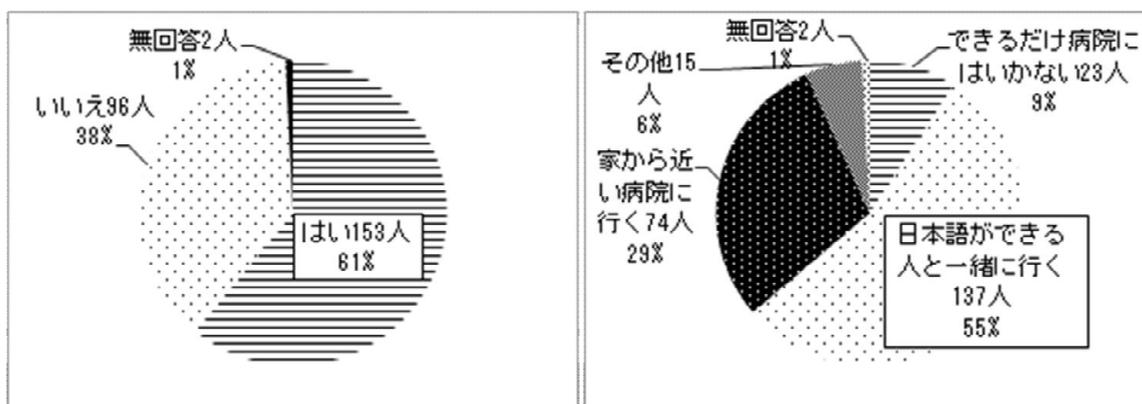
「あなたやあなたの家族または、友達の体調や病気について、医師に相談したいと思ったことはありますか」という問いに、相談したいと思ったことがあると回答した人が61%、思ったことがないと回答した人が38%でした。病気になったときは、「日本語ができる人と一緒に行く」が55%、「家から近い病院に行く」が29%、「できるだけ病院にはいかない」が9%でした。約4割の人が年1～4回病院へ行くと回答しました。その際使用した言語は「日本語」が93%となりました。病院へは誰と行ったかという問いに、「その他」と回答した人が56%であり、具体的には、会社の人などの回答がありました。

問18 あなたやあなたの家族または、友だちの体調や

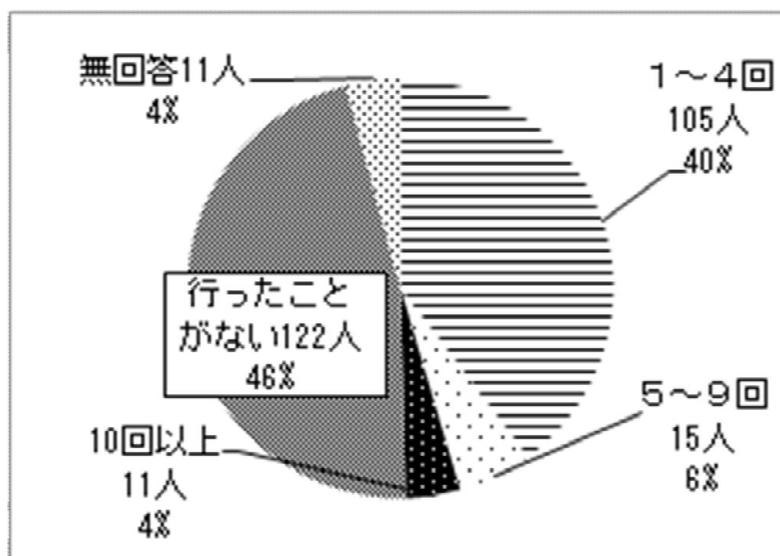
問19 病気になったとき、どうしますか。【〇は1つ】

病気について、医師に相談したいと思ったことは

ありますか。【〇は1つ】

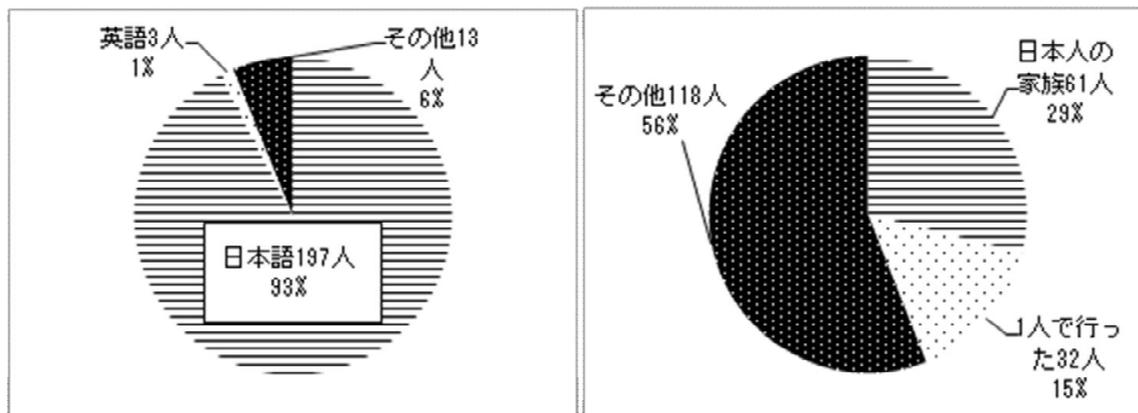


問20 過去1年間に病院やクリニックに何回行きましたか。(あなた自身の受診のほか、家族や友だちの付き添いも含みます。)【〇は1つ】



問 21 病院では、どの国の言葉で話しましたか。【〇は1つ】

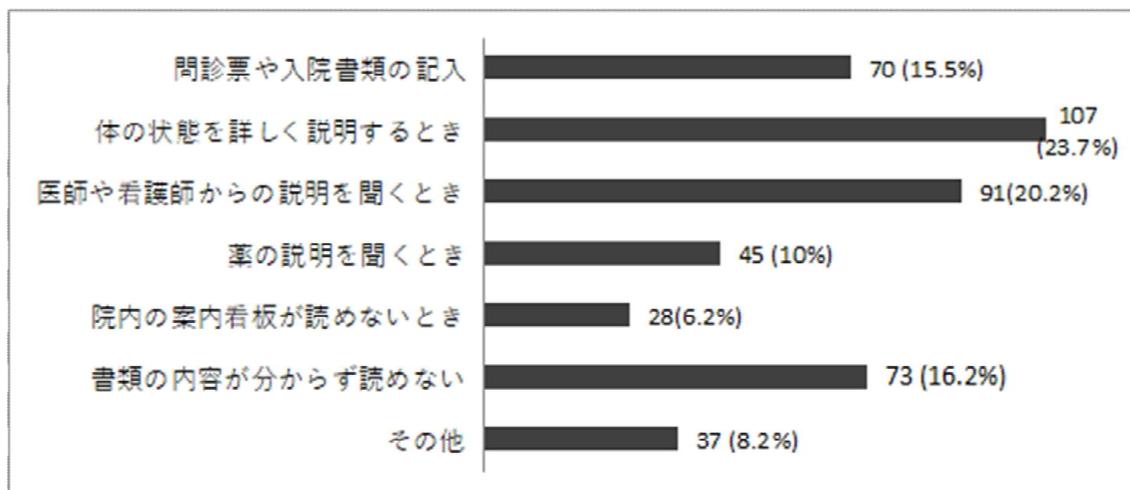
問 22 病院には、誰と行きましたか。【〇は1つ】



「病院で困ったこと、不安に感じたこと」は「体の状態を詳しく説明すること」が一番多い

「病院に行ったとき、困ったことや不安に感じたことはありますか（5つまで選択可）」という問いに、困ったことや不安に感じたことは「体の状態を詳しく説明するとき」という人が 23.7%、「医師や看護師から説明を聞くとき」が 20.2%、「書類の内容が分からず読めない」が 16.2%という回答がありました。

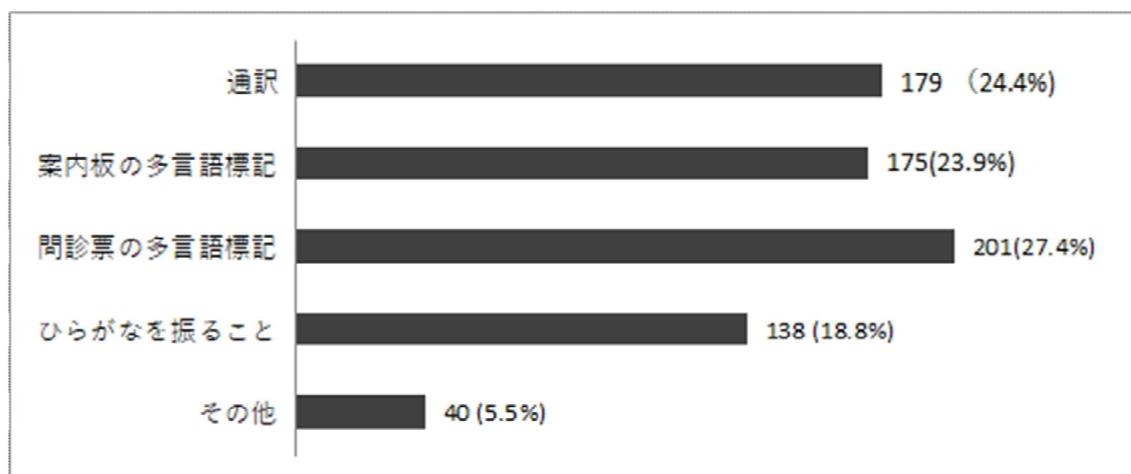
問 23 病院に行ったとき、困ったことや不安を感じたことはありますか。【〇は5つまで】



約9割の人が病院での「通訳制度を利用したい」そのうち、約4割が有料でも利用したい

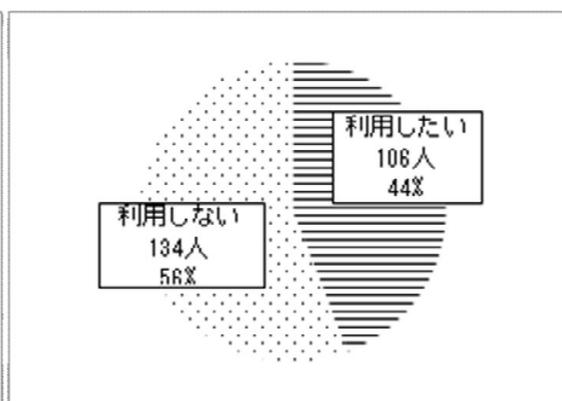
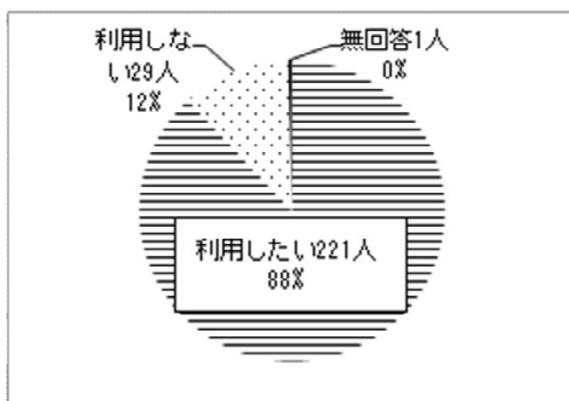
「医療サービスとして希望することは（3つまで選択可）」という問いに、「問診票の多言語標記」27.4%、「通訳」24.4%、「案内板の多言語標記」23.9%という回答がありました。また、「病院やクリニックにかかるとき、通訳制度があったら利用しますか。」という問いに、88%の人が通訳制度を利用したいと回答し、そのうち、有料でも通訳制度を利用したいと回答した人が、44%いました。

問24 医療サービスとして希望することは？【〇は3つまで】



問25 病院やクリニックにかかるとき、通訳制度があったら利用しますか。【〇は1つ】

有料の通訳制度でも利用したいですか。【〇は1つ】



5. 市の外国人支援について

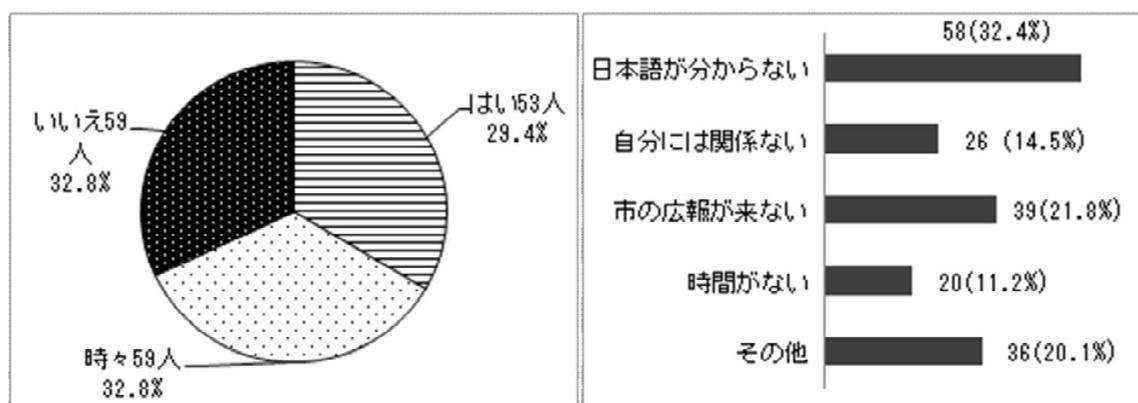
約3割の外国人住民が、市の広報紙やお知らせを読んでいる

「市の広報紙や市から届くお知らせを読んでいますか（3つまで選択可）」という問いに「はい」と回答した人が29.4%、「時々」が32.8%、「いいえ」が32.8%でした。「いいえ」と回答した人のうち読まない理由として、「日本語がわからない」が32.4%、「市の広報が来ない」が21.8%という結果になりました。

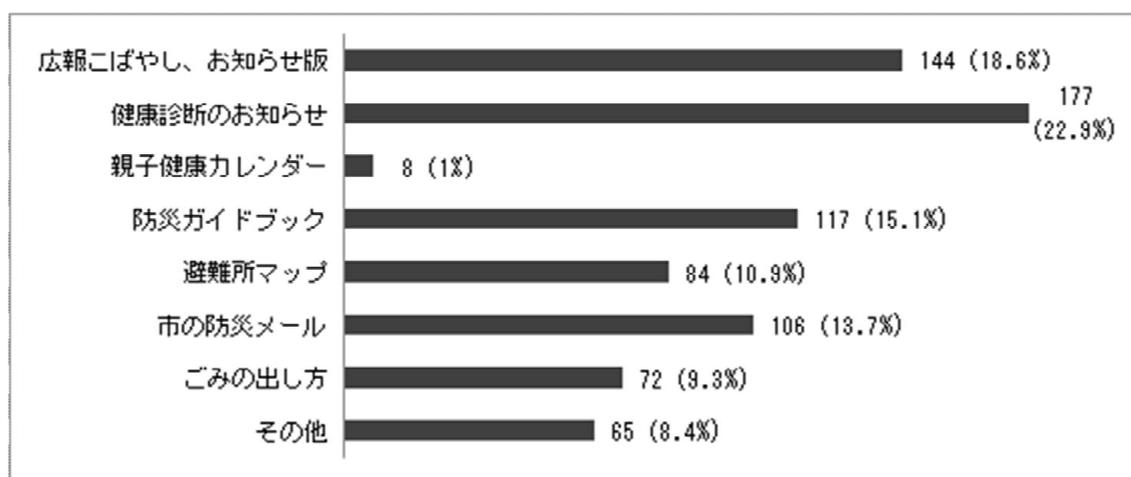
「市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは」という問いに、「健康診断のお知らせ」が22.9%、「広報こぼやし、おしらせ版」が18.6%、「防災ガイドブック」が15.1%となりました。

問26 市の広報紙など、市から届くお知らせを読んでいますか？ 読まない理由は何ですか？【〇は1つ】

【〇は1つ】



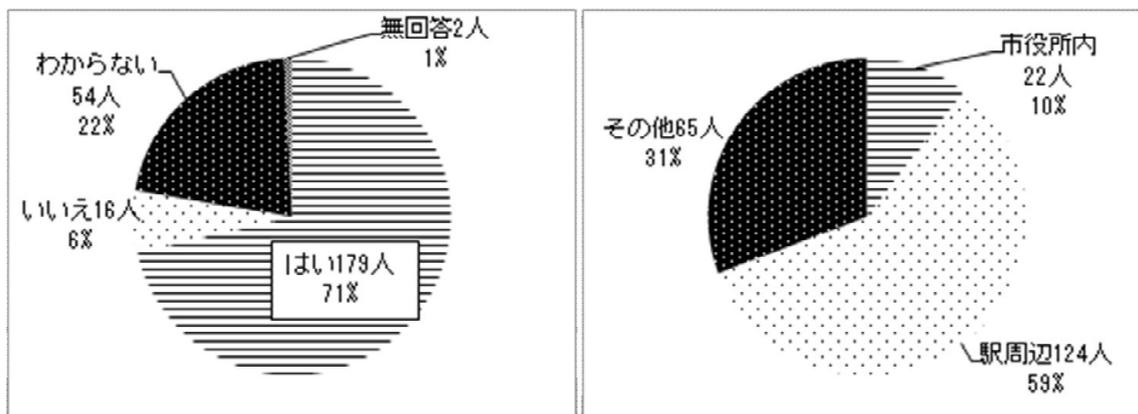
問27 市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは？【〇は3つまで】



約7割の人が、市内に外国人が憩う場所があればいいと回答

71%の外国人市民が、市内に憩う場所があればいいと回答し、そのうち「駅周辺」にそういった場所があるといいと回答した人が59%でした。

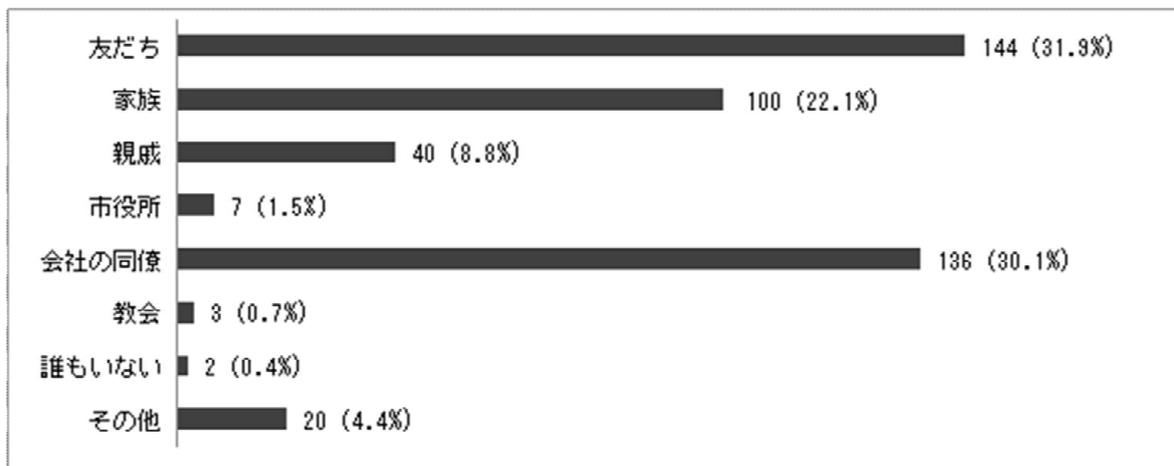
問28 市内に、外国人の方が憩う場所があればいいと思いますか。【〇は1つ】場所は？



約3割の人が、困ったとき相談するのは「会社の同僚」または「友だち」

何か困ったとき相談するのは、「友だち」が31.9%、「会社の同僚」が30.1%、「家族」が22.1%となり、大多数の人が「身近な人」に相談をしていることがわかります。

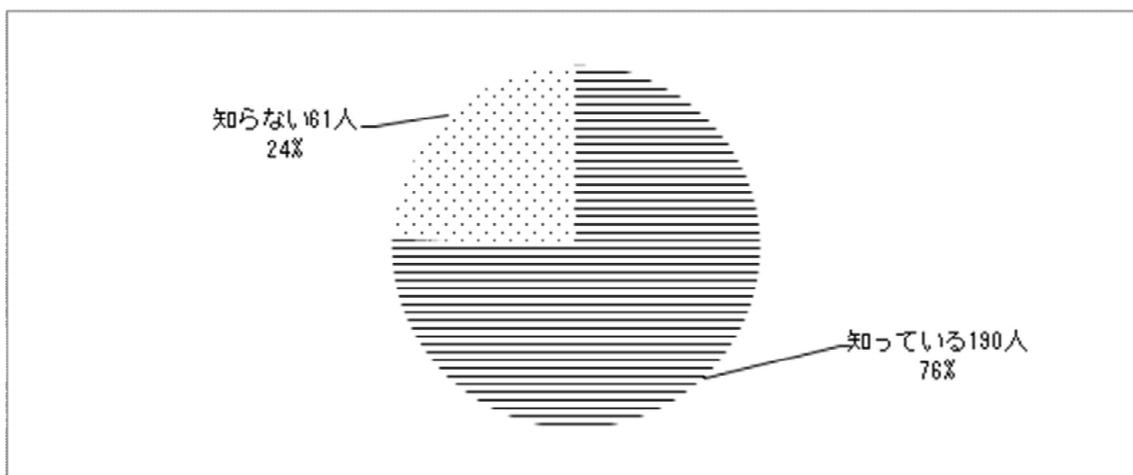
問28-1 何か困ったとき、だれに相談しますか。【〇はいくつでも】



約 8 割の人が「自分が犯罪や火事にあつたらどうすればいいか知っている」と回答

24%の人が犯罪や火事などにあつたらどうすればいいか「知らない」と回答。その反面、「知っている」と回答した人が 76%いました。

問 28-3 自分が犯罪や火事などにあつたら、どうすればいいか知っていますか。【〇は1つ】

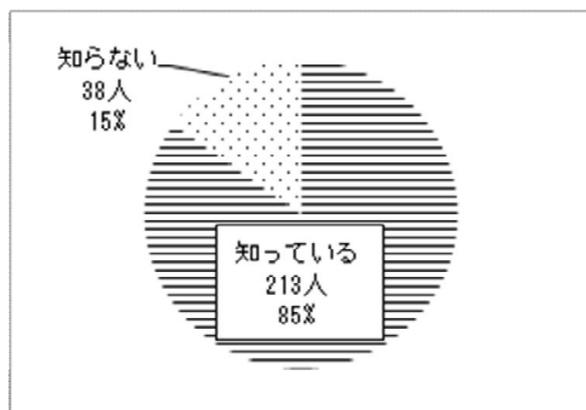


約 8 割の人が、「地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っている」が、その反面約 2 割の人が、最寄りの避難所を知らないと回答

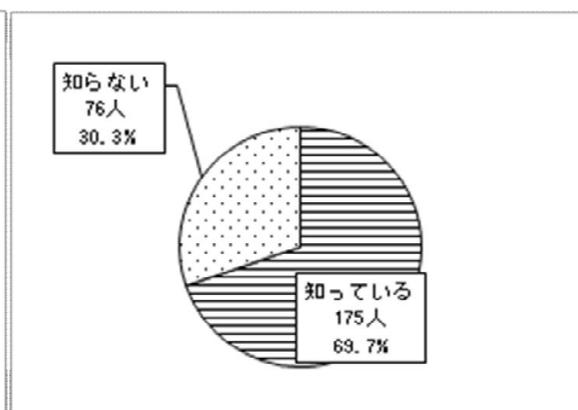
「地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか」という問いに、85%が「知っている」、15%が「知らない」と回答しました。

しかし、「自分の家の近くの避難所を知っていますか」という問いに、「知らない」と回答した人が 30.3%、「知っている」が 69.7%となりました。

問 28-4 地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか。【〇は1つ】



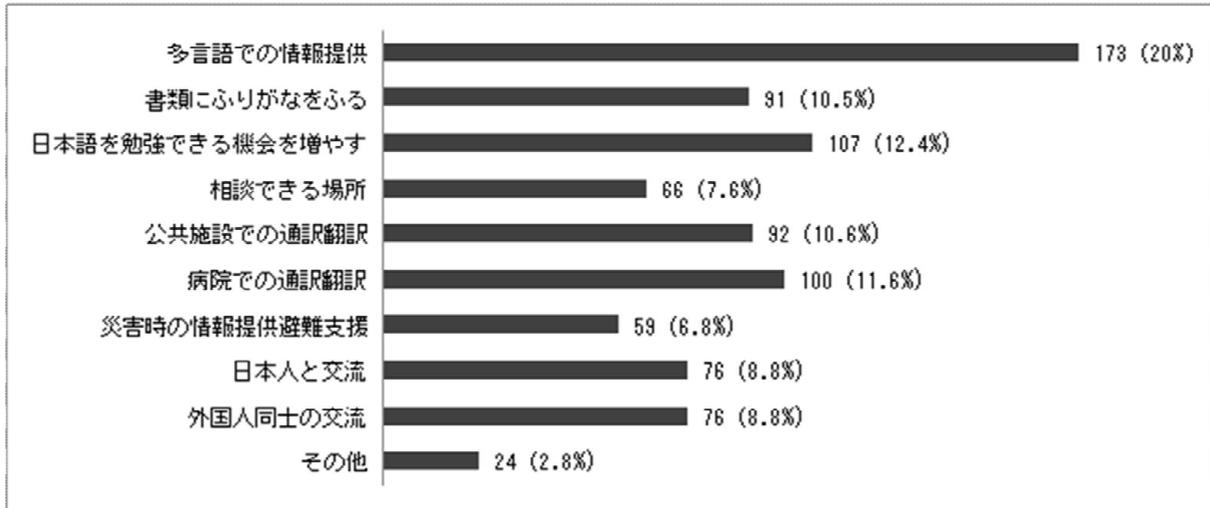
問 28-5 自分の家の近くの避難所を知っていますか。【〇は1つ】



言語に対する支援が必要だと答えた人が約6割

外国人市民にとっても暮らしやすい小林市にするため必要なこととして、「多言語での情報提供」と回答した人が20%、「日本語を勉強できる機会を増やす」が12.4%、「病院での通訳翻訳」が11.6%となりました。

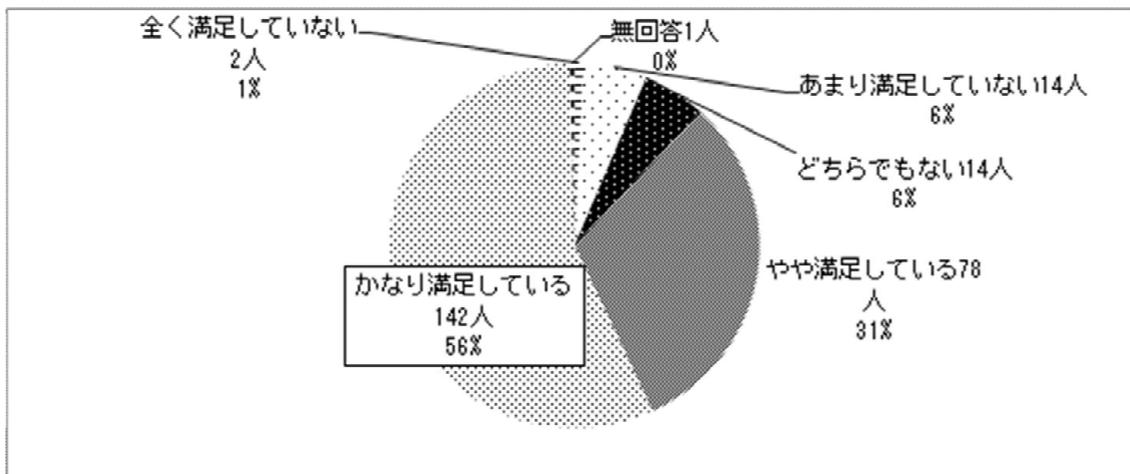
問 29 次のうち、外国の方にも暮らしやすい小林市にするために、必要だと思うことは。【〇はいくつでも】



約8割の人が小林市で暮らすことに「かなり満足している」「やや満足している」

小林市に住んでみての満足度を問う質問に対して、「かなり満足している」が56%、「やや満足している」が31%、「どちらでもない」が6%、「あまり満足していない」が6%、「全く満足していない」が1%となっています。

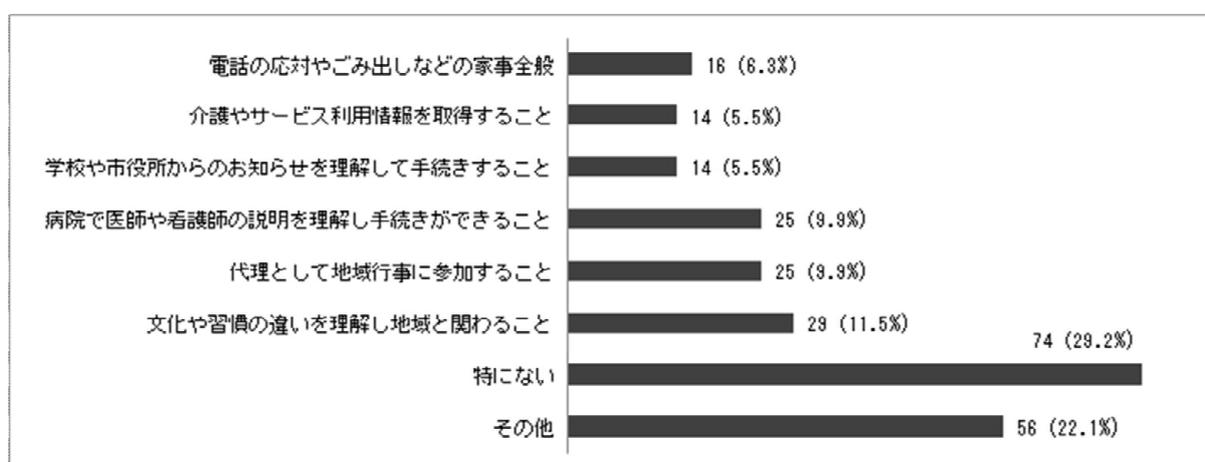
問 30 小林市に住んでみて全体的にどの程度満足していますか。【〇は1つ】



外国人住民をサポートしてくれている身近な人が不在になると、不安に思うことは「特にない」と答えた外国人市民が約3割

外国人市民をサポートしている身近な人が不在になると不安になることとして、「特にない」と回答した人が29.2%でした。一方で、「病院で医師や看護師説明を理解・手続きすること」が不安だと回答した人が9.9%、「学校や市役所からのお知らせを理解して手続きすること」が5.5%、「文化や習慣の違いを理解し地域と関わること」が不安だと回答した人が11.5%でした。

問31 普段の生活で頼りにしている方が、長期出張や入院などで家を不在にしたときに、あなたが不安に思うことは何ですか
【〇はいくつでも】



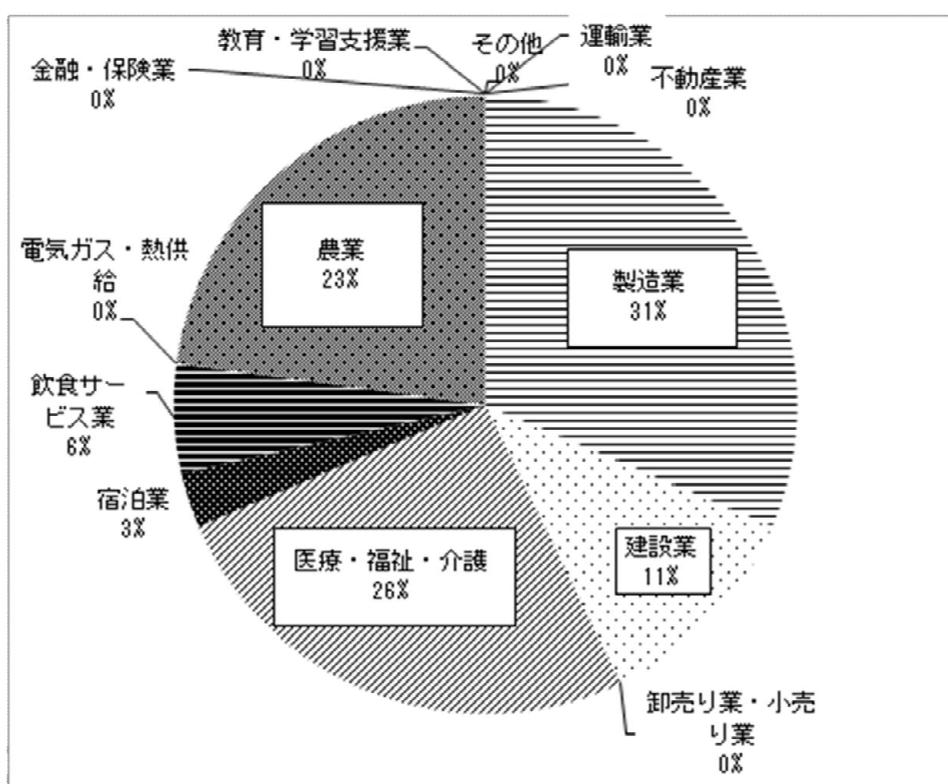
【企業向けアンケート】

1. 現状について

回答した企業の約3割が「製造業」、「医療・福祉・介護」、「農業」であり、そのうち、約9割が現在も外国人材を雇用している

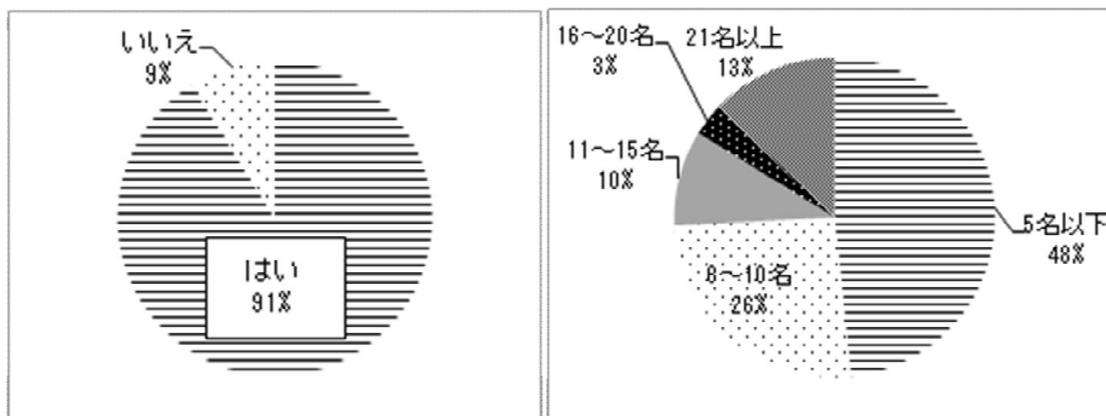
回答企業は「製造業」31%、「医療・福祉・介護」26%、「農業」23%などとなっていました。そのうち、91%が現在も外国人材を雇用しており、雇用人数が「5名以下」が48%、「8～10名」が26%、「21名以上」が13%でした。

問1. 貴社の概要について 問2. 業種について



問3. 現在、外国人を雇用していますか。

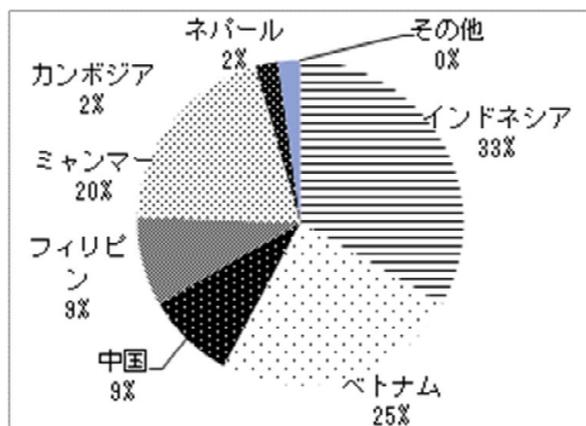
問4. 現在、雇用している外国人は何人ですか。



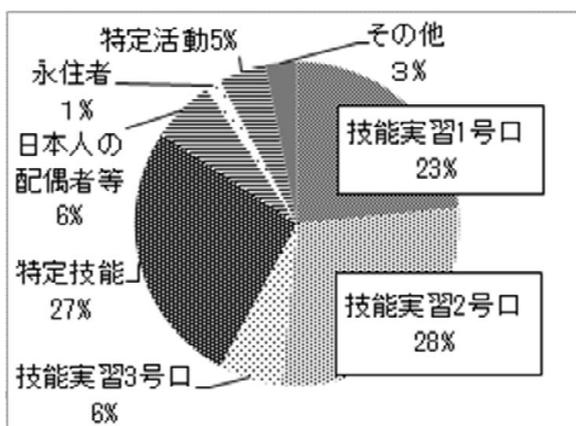
国籍は「インドネシア」と「ベトナム」で半数以上を占めており、在留資格は「技能実習」、「特定技能」が多数。

国籍は「インドネシア」33%、「ベトナム」25%、「ミャンマー」20%となった。在留資格は「技能実習1号口～3号口」と「特定技能」で約8割を超える結果となりました。雇用形態は「正社員」が78%と一番多く、今後、5年間の受入れ見込みについては、「大幅に増やす」、「ある程度増やす」が半数以上でした。

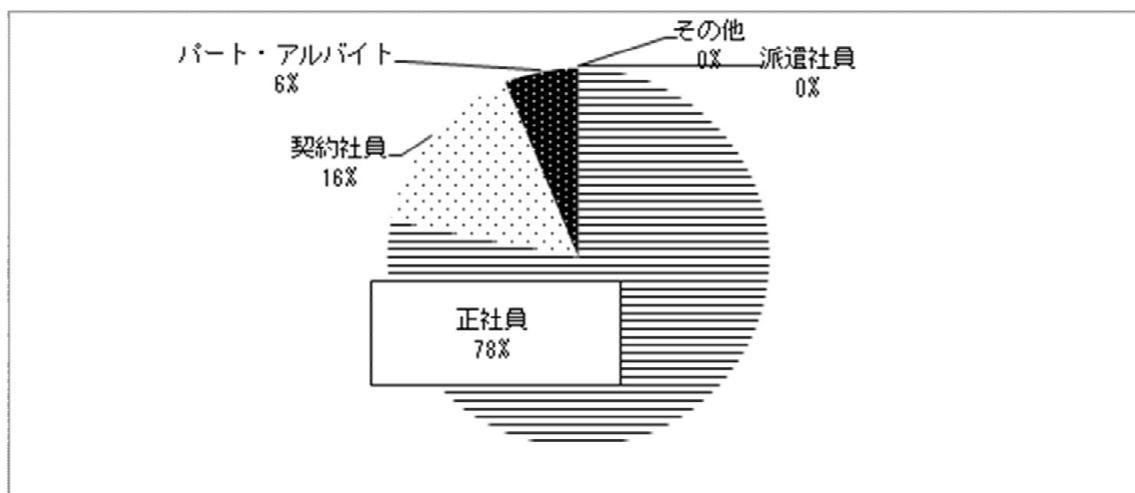
問5. 現在、雇用している外国人の国籍は何ですか



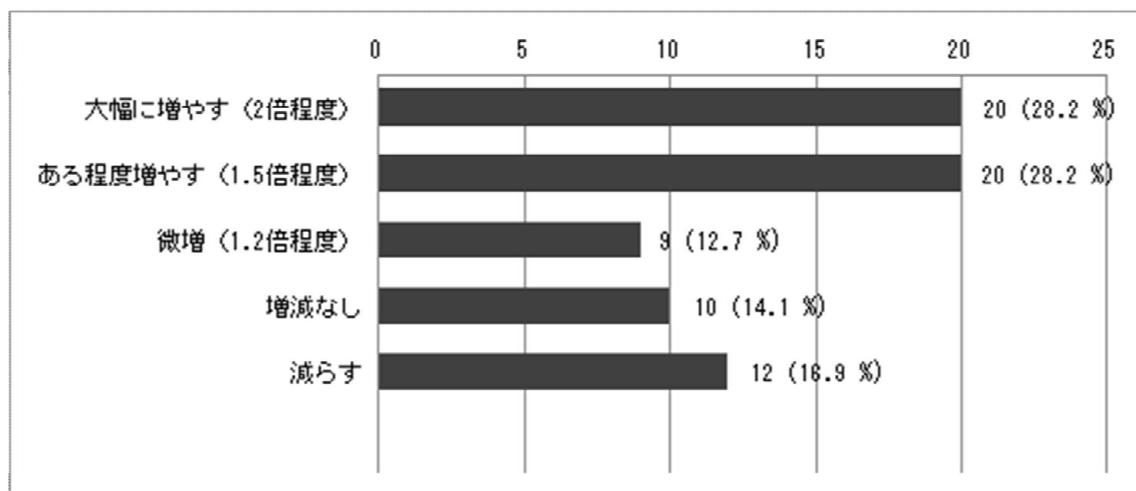
問6. 現在、雇用している外国人の在留資格は何ですか



問7. 現在、雇用している外国人の雇用形態は何ですか



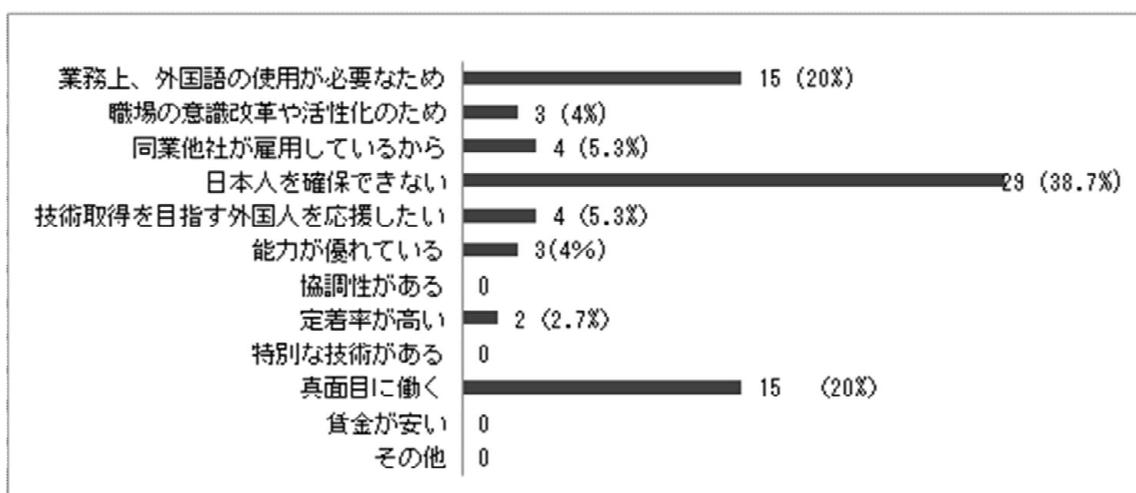
問8. 今後、5年間の外国人労働者の受入れ見込みについて



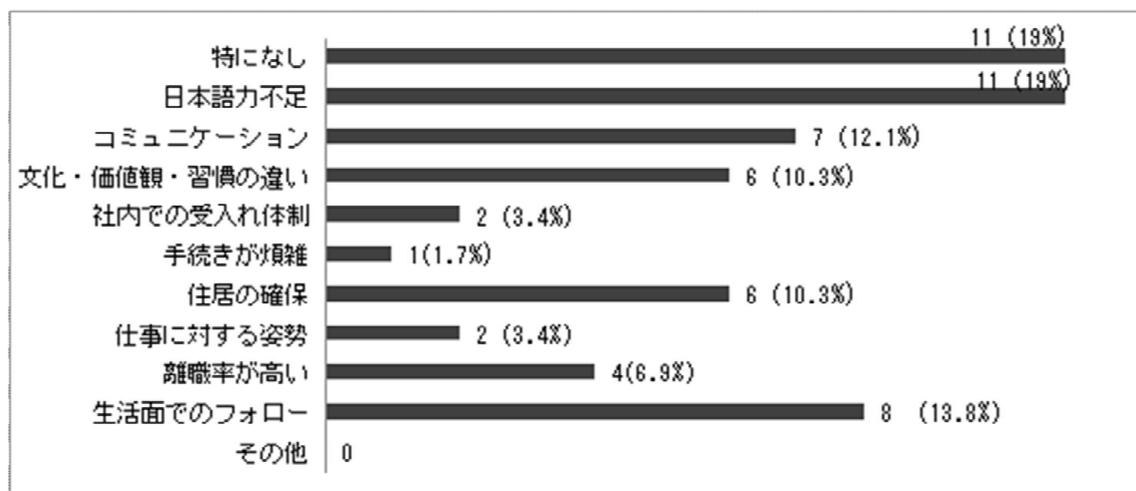
雇用する理由は「日本人を確保できないから」が一番多く、雇用にあたっての課題はコミュニケーションについて、生活のフォローについてが多かった

雇用理由は「日本人を確保できないから」が38.7%と一番多く、次に「業務上、外国語の使用が必要なため」、「真面目に働く」が20%と次に多い結果でした。雇用する際の課題は「日本語力不足」、「コミュニケーション」など働く上で必要になることが多く、次に「文化、価値観、習慣の違い」、「生活面でのフォロー」、「住居の確保」など生活する上での課題も多くなりました。

問9. 外国人を雇用する理由について当てはまる番号をお選びください。



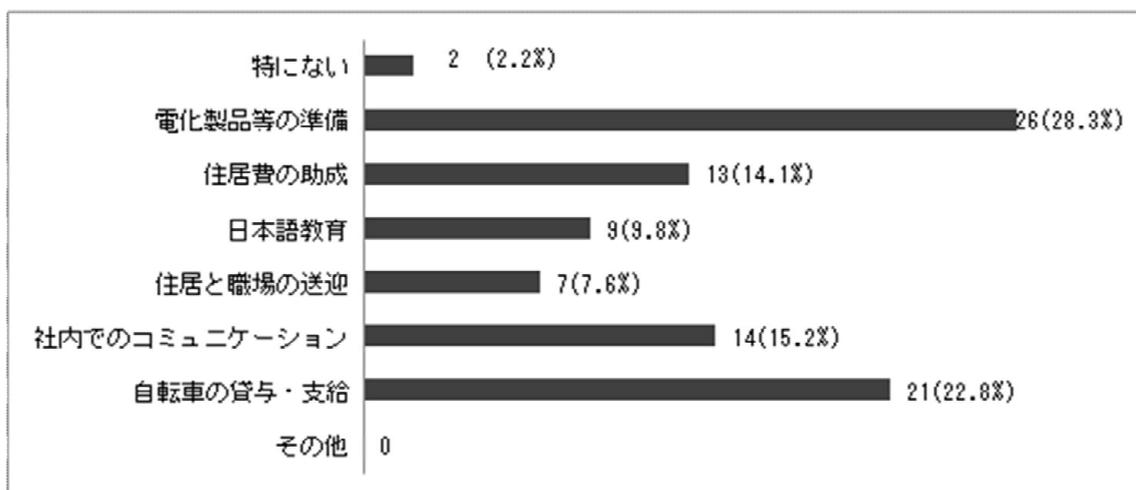
問 10. 雇用の際し、または雇用後に課題や問題はありますか。



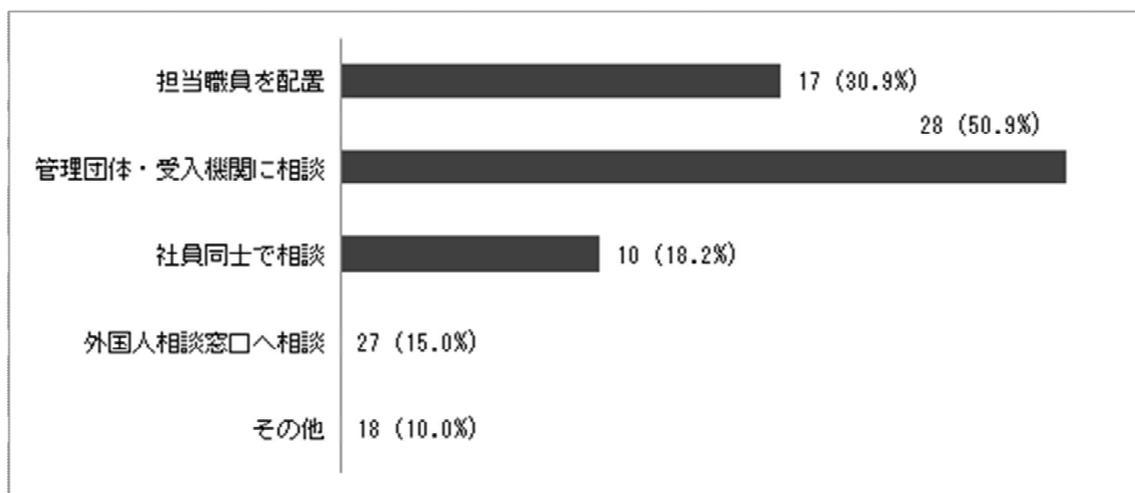
また、企業独自の取組では、「電化製品等の準備」28.3%、「自転車の貸与、支給」22.8%となり、来日後すぐに生活ができるように取り組んでいることが分かりました。外国人従業員の悩みや困りごと解決の方法は「管理団体、受入機関に相談」が最も多く50.9%となりました。

企業での日本語教育については、「外国人被雇用者が自ら学習・受講」が多くなりました。

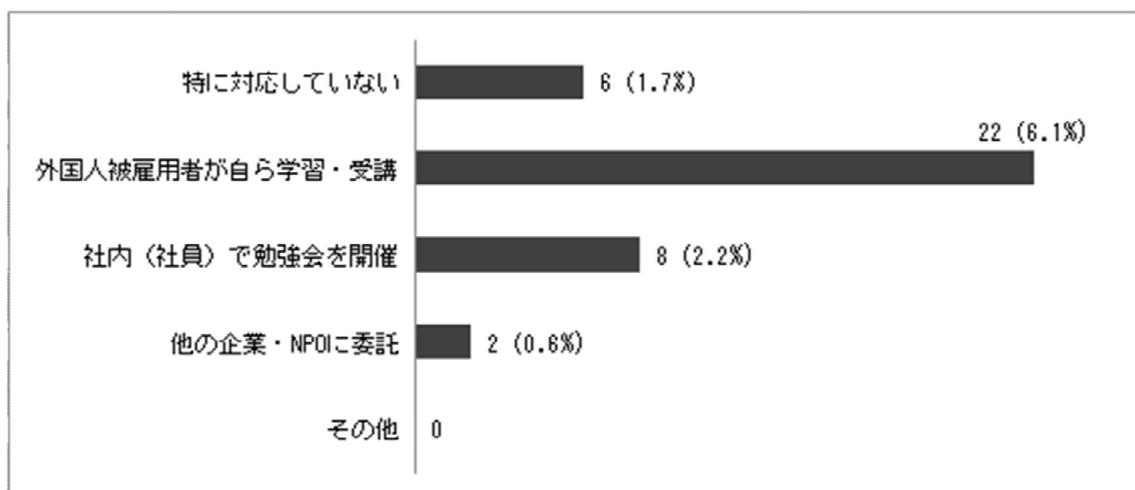
問 11. 外国人材の定着のために、企業独自で取り組んでいることがありますか。



問 12. 外国人従業員の悩みや困りごとをどのように解決していますか。



問 13. 日本語教育についてどのようなことに取り組んでいますか。

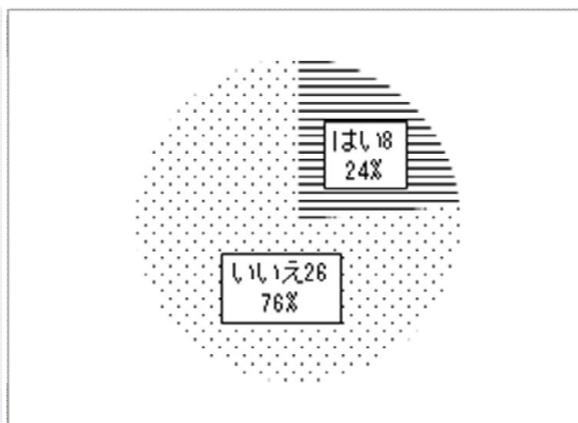
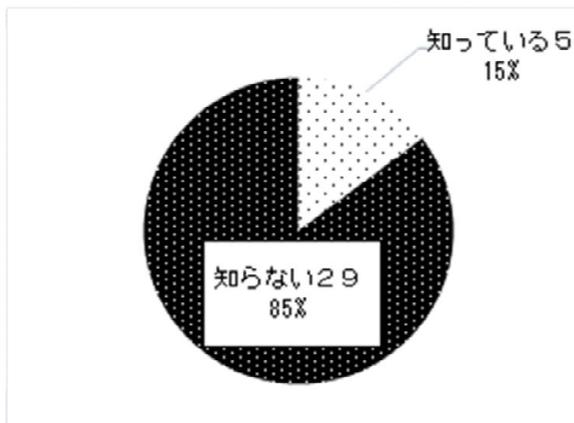


2. 小林市国際化・多文化共生の取組について

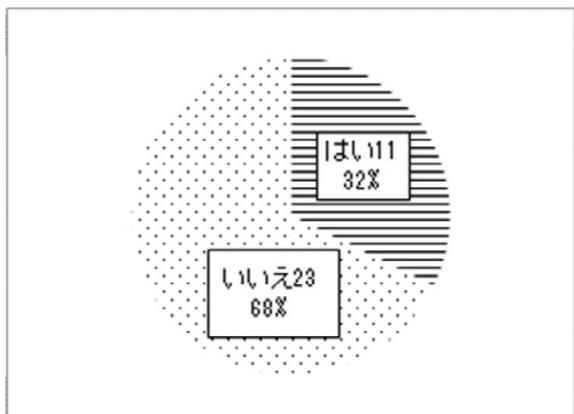
市の国際化・多文化共生の取組について、約7～8割が知らないと回答

小林市国際化・多文化共生推進計画の策定について、85%が「知らない」と回答しました。国際化推進コーディネーターがいることを知っているかについては、76%が「いいえ」、24%が「はい」と答えました。市のホームページでの多言語発信を知っているかについては、32%が「はい」と回答しました。

問 14. 令和2年3月に小林市国際化・多文化共生推進計画が 問 15. 本市に国際化推進コーディネーターがいることを
策定されたことをご存じですか。 ご存じですか。



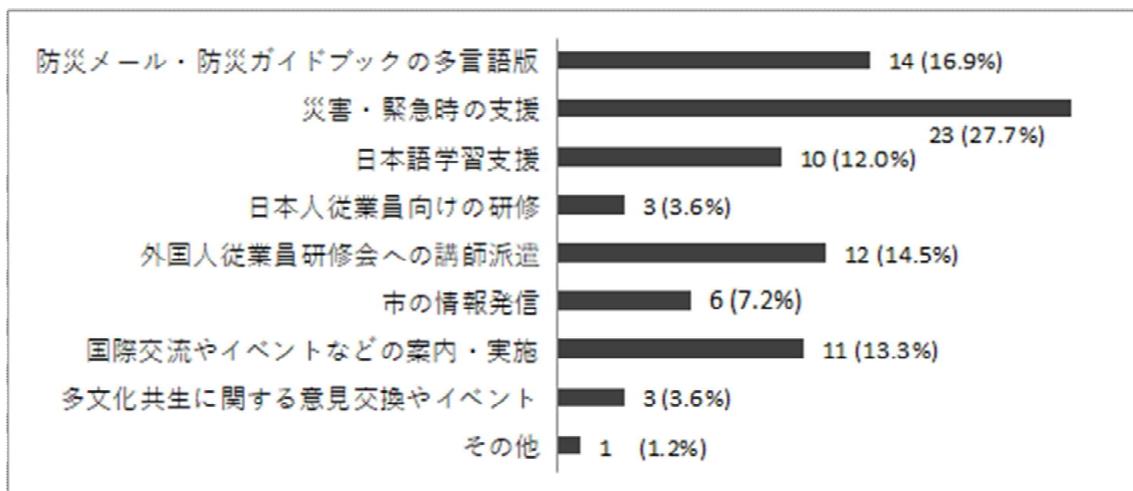
問 16. 市のホームページでは、多言語で情報発信してるのをご存じですか。



市の国際化・多文化共生の取組について、期待することは「災害・緊急時の支援」が最も多い

市の国際化・多文化共生の取組で期待することは、「災害・緊急時の支援」27.7%、「防災メール・防災ガイドブックの多言語版」16.9%、「外国人従業員研修会への講師派遣」14.5%となりました。このことから、緊急時の支援や日常生活のフォローなどを期待する傾向となっていることが考えられます。

問 17. 本市にどのようなことを期待していますか。【当てはまるものすべて】



問 18. これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他、外国人受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・人手不足は深刻で外国人に頼らなければ成り立たない会社の現実。もう少し受け入れしやすい制度を作ってほしいです。
- ・都市部と比較して賃金が低いため、1年程度ですぐに都会へと転職していく方が多いです。
- ・空いている市営住宅の入居をご検討いただきたいです。(外国人実習生・特定技能)
- ・今いらっしゃる方は、日本語・英語が得意で通訳としても活躍していただいています。皆でお互いの言葉を勉強しあいながら頑張っています。
- ・ほとんどの特定技能外国人は2年以内に退職、もしくは退職の意向を示しております。実際に退職した特定技能外国人は、「日本のいろいろな場所へ行ってみたい」「都会へ行ってみたい」「給料が高い仕事が良い」など、地方にとっては問題解決に至るまでが難しい理由を示しています。
- ・外国人への日本文化、法律、マナー支援が必要である。
- ・外国人材を受け入れるのに結構な費用がかかります。それに際しての補助金、助成金などの活用がしたいです。

問7 あなたが小林市に住んでいる理由は？ 【〇はいくつでも】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 家族と一緒に暮らすため | 2 仕事や学校が近くにあるため |
| 3 友だちがいるから | 4 住みやすいから |
| 5 結婚のため | 6 その他（具体的に） |

問8 現在、あなたは何人で住んでいますか。また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか。 【〇はいくつでも】

- あなたを含めた人数 _____人
- | | | | |
|------|---------|---------|-------|
| 1 家族 | 2 職場の同僚 | 3 1人暮らし | 4 その他 |
|------|---------|---------|-------|

問8-1 現在、あなたはどこに住んでいますか。 【〇は1つ】

- | | | | |
|-----------|--------|--------|-------|
| 1 アパート・賃貸 | 2 会社の寮 | 3 買った家 | 4 その他 |
|-----------|--------|--------|-------|

問8-2 あなたはこれからどこに住みたいですか。 【〇は1つ】

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 小林市にずっと住みたい | 2 自分の国に帰りたい |
| 3 小林市ではないが日本に住みたい | 4 その他（） |

問8-3 問8-2で「3 小林市ではないが日本に住みたい」と選んだ方にお聞きします。小林市以外に住みたい理由は？

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1 違う企業で働きたい | 2 住む環境を変えたい | 3 都会に住みたい |
| 4 生活サポートをもっと受けたい | 5 その他（） | |

問9 現在、あなたは働いていますか。 【〇は1つ】

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

雇用形態は？ 【〇は1つ】

- | | | |
|--------|-------------|---------|
| 1 正規雇用 | 2 パート、アルバイト | 3 その他（） |
|--------|-------------|---------|

2 小林市での普段の生活について

問10 小林市での生活に必要な情報の入手方法は？ 【〇は3つまで】

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 テレビ、ラジオ | 2 インターネット |
| 3 日本語の新聞、雑誌 | 4 広報「こばやし」 |
| 5 日本人の友だち、知り合い | 6 日本にいる母国・外国の友だち、知り合い |
| 7 その他（具体的に | ） |

問11 普段の生活で困っていることや、心配なことは？ 【〇はいくつでも】

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 言葉が十分に通じない（問11-1へ） | 2 文化や習慣の違い |
| 3 病院やクリニックの行き方 | 4 地震や大災害が起きた場合の対応 |
| 5 育児や教育のこと | 6 ごみの出し方 |
| 7 バスや電車の乗り方がわからない | 8 外国人ということで差別を受ける |
| 9 特にない | 10 その他（具体的に |
| | ） |

問11-1 問11で「1 言葉が十分に通じない」と選んだ方にお聞きします。

あなたは、どんな時に言葉が通じなくて（わからなくて）困りますか。

【〇はいくつでも】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 市役所へ行ったとき | 2 病院やクリニックへ行ったとき |
| 3 子どもの保育園や学校へ行ったとき | 4 銀行や郵便局へ行ったとき |
| 5 市や地域、保育園や学校のお知らせを読むとき | |
| 6 その他（具体的に | ） |

問12 困ったことや心配なことがあったときは、誰に相談しますか。

【〇はいくつでも】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 日本人の家族、親族 | 2 母国にいる家族、親族 |
| 3 日本人の知り合い | 4 日本にいる母国の家族や知り合い |
| 5 職場の人 | 6 市役所 |
| 7 相談する相手がいない | 8 その他（具体的に |
| | ） |

問13 あなたは地域の人とどのように関わっていますか？ 【〇はいくつでも】

- | | | |
|-----------------|---------------|------------|
| 1 地域の清掃活動への参加 | 2 町内会・自治会への参加 | 3 防災訓練への参加 |
| 4 文化や言葉を学ぶ場への参加 | 5 特になし | 6 その他（ |
| | | ） |

問14 自治会を知っていますか。 【〇は1つ】

- | | | |
|-------------|------------|--------|
| 1 自治会に入っている | 2 聞いたことがある | 3 知らない |
|-------------|------------|--------|

3 あなたの日本語について

問15 現在、日本語を勉強していますか。 【○は1つ】

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 はい (問15-1へ) | 2 いいえ (問15-2へ) |
| 3 していた (問15-3へ) | |

問15-1 問15で「1 はい」を選んだ方にお聞きします。

どこで日本語を勉強していますか。 【○はいくつでも】

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 職場、学校の日本語研修 | 2 家族から |
| 3 日本人の知り合いから | 4 ひとりで勉強している |
| 5 地域の日本語教室 | 6 その他 (具体的に) |

問15-2 問15で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。

勉強していない理由は？ 【○はいくつでも】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 日本語ができる | 2 勉強する時間がない |
| 3 その他 (具体的に) | |

問15-3 問15で「3 していた」を選んだ方にお聞きします。

日本語の勉強をやめた理由は？ 【○は1つ】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 日本語ができるようになった | 2 仕事や学校に行くため時間がなくなった |
| 3 その他 (具体的に) | |

問16 日本語を学習する際、あなたが最も重要視することは何ですか？

【○は2つまで】

- | | | |
|-----------|--------------|---------------------|
| 1 料金 | 2 自宅や職場に近い場所 | 3 希望する時間に指導が受けられること |
| 4 その他 () | | |

問16-1 日本語を学習する際、あなたが希望することは何ですか？

【○は2つまで】

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 仕事に役立つ日本語を習いたい | 2 日常生活のための日本語を習いたい |
| 3 その他 () | |

問23 病院やクリニックに行ったとき、困ったことや不安を感じたことはありますか。

【〇は5つまで】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 問診票や入院書類の記入 | 2 体の状態を詳しく説明すること |
| 3 医師や看護師から説明を聞くとき | 4 薬の説明を聞くとき |
| 5 院内の案内看板が読めないとき | 6 書類の内容が分からず読めない |
| 7 その他（具体的に | ） |

問24 次のうち、医療サービスとして希望することは？

【〇は3つまで】

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 通訳 | 2 案内板の多言語表記 |
| 3 問診票や入院書類の多言語表記 | 4 問診票や入院書類にひらがなを振ること |
| 5 その他（具体的に | ） |

問25 病院やクリニックにかかるとき、通訳制度があったら利用しますか。

【〇は1つ】

- | | |
|---------|---------|
| 1 利用したい | 2 利用しない |
|---------|---------|

↓
有料の通訳制度でも利用しますか。【〇は1つ】

- | | |
|---------|---------|
| 1 利用したい | 2 利用しない |
|---------|---------|

5 市の外国人支援について

問26 市の広報紙など、市から届くお知らせを読んでいますか。

【〇は1つ】

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1 はい（他の人から内容を教えてもらう場合も含まれます。） | |
| 2 ときどき | 3 いいえ |

↓
読まない理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|-------------|---|
| 1 日本語がわからない | |
| 2 自分には関係ない | |
| 3 市の広報が来ない | |
| 4 時間がない | |
| 5 その他（ | ） |

問27 市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは？

【〇は3つまで】

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 広報こぼやし、お知らせ版 | 2 健康診断のお知らせ |
| 3 親子健康カレンダー | 4 防災ガイドブック |
| 5 避難所マップ | 6 市の防災メール |
| 7 ごみの出し方 | 8 その他（具体的に) |

問28 市内に、外国人の方が憩う場所があればいいと思いますか。

【〇は1つ】

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

場所は？

【〇は1つ】

- | |
|--------------|
| 1 市役所内 |
| 2 小林市駅周辺 |
| 3 その他（具体的に) |

問28-1 何か困ったとき、だれに相談しますか。

【〇はいくつでも】

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|-------|---------|
| 1 友だち | 2 家族 | 3 親戚 | 4 市役所 | 5 会社の同僚 |
| 6 教会 | 7 誰もいない | 8 その他（具体的に) | | |

問28-2 自分が犯罪や火事などにあったら、どうすればいいか知っていますか。

【〇は1つ】

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問28-3 地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか。

【〇は1つ】

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問28-4 自分の家の近くの避難所を知っていますか。

【〇は1つ】

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問29 次のうち、外国の方にも暮らしやすい小林市にするために、必要だと思うことは？

【〇はいくつでも】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 多言語での情報提供 | 2 日本語の書類に、ひらがなを振る |
| 3 日本語を勉強できる機会を増やす | 4 悩み事を相談できる場所がある |
| 5 公共施設での通訳や翻訳 | 6 病院やクリニックでの通訳や翻訳 |
| 7 災害時の情報提供や避難支援 | 8 日本人と交流できるところ |
| 9 外国人同士が交流できるところ | 10 その他 () |

問30 小林市に住んでみて全体的にどの程度満足していますか。 【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------------|----------------|---------|--------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 全く満足
していない | あまり満足
していない | どちらでもない | やや満足
している | かなり満足
している |

問31 普段の生活で頼りにしている方が、長期出張や入院などに家を不在にしたときに、あなたが不安に思うことは何ですか。 【〇はいくつでも】

- | |
|--------------------------------------|
| 1 電話の対応やごみ出しなど家事全般 |
| 2 家族の介護に際し、介護や福祉サービス利用情報を取得すること |
| 3 子どもの保育園や学校、市役所等からのお知らせを理解して手続きすること |
| 4 病院やクリニックで、医師や看護師の説明を理解し手続きができること |
| 5 代理として地域行事に参加できること |
| 6 文化や習慣の違いを理解し、地域と関わること |
| 7 その他 (具体的に) |
| 8 特にない |

問7 現在、雇用している外国人の雇用形態は何ですか。

- | | | |
|--------|-----------|-------------|
| 1 正社員 | 2 契約社員 | 3 パート・アルバイト |
| 4 派遣社員 | 5 その他 () | |

問8 今後、5年間の貴社の外国人労働者の受入れ見込みについて教えてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 大幅に増やす (2倍程度) | 2 ある程度増やす (1.5倍程度) |
| 3 微増 (1.2倍程度) | 4 増減なし |
| 5 減らす | |

問9 貴社が外国人を雇用する理由についてあてはまる番号をお選びください。

【当てはまるものすべて】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 業務上、外国語の使用が必要なため | 2 職場の意識改革や社内の活性化のため |
| 3 同業他社が雇用しているから | 4 日本人を確保できない |
| 5 技術取得を目指す外国人を応援したい | 6 能力が優れている |
| 7 協調性がある | 8 定着率が高い |
| 9 特別な技術・知識がある | 10 まじめに働く |
| 11 賃金が安い | 12 その他 () |

問10 雇用に際し、または雇用後に課題や問題はありますか。

【当てはまるものすべて】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1 特になし | 2 日本語力不足 (読み・書き) |
| 3 コミュニケーション | 4 文化・価値観・習慣の違い |
| 5 社内での受入体制 | 6 手続きが煩雑 (在留資格・雇用管理等) |
| 7 住居の確保 | 8 仕事に対する姿勢 |
| 9 離職率が高い | |
| 10 生活面でのフォロー (実習生同士のトラブル・清掃指導など) | |
| 12 その他 (具体的に:) | |

問11 外国人材の定着のために、企業独自で取り組んでいることがありますか。

【当てはまるものすべて】

- | | | |
|-------------|------------|-----------------|
| 1 特になし | 2 家電製品等の準備 | 3 住居費の助成 |
| 4 日本語教育 | 5 住居と職場の送迎 | 6 社内でのコミュニケーション |
| 7 自転車の貸与・支給 | 8 その他 () | |

問12 外国人従業員の悩みや困りごとをどのように解決していますか。

【当てはまるものすべて】

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 担当の職員を配置 | 2 管理団体・受入支援機関に相談 |
| 3 社員同士で相談する（日本人を含む） | 4 外国人相談窓口へ相談をする |
| 5 その他（ | ） |

問13 日本語教育についてどのようなことに取り組んでいますか。

【当てはまるものすべて】

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 特に対応していない | 2 外国人被雇用者が自ら学習・受講 |
| 3 社内（社員）で勉強会を開催 | 4 他の企業・NPO等に委託 |
| 5 その他（ | ） |

2 小林市国際化・多文化共生の取組について

問14 令和2年3月に小林市国際化・多文化共生推進計画が策定されたことをご存じですか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問15 本市に国際化推進コーディネーターがいることをご存じですか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

*「国際化推進コーディネーター」とは、市内の国際交流・異文化理解活動、市内在住外国人住民の生活支援を主に活動しています。

問16 市のホームページでは、多言語で情報発信しているのをご存じですか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問17 本市にどのようなことを期待していますか。【当てはまるものすべて】

- | | |
|---|---|
| 1 防災メールの周知・やさしい日本語や多言語での防災ガイドブック | |
| 2 災害・緊急時の支援 | |
| 3 日本語学習支援 | |
| 4 日本人従業員向けの研修（多文化共生、やさしい日本語を使ったコミュニケーション） | |
| 5 外国人従業員研修会への講師派遣（ゴミの出し方、交通安全、防災、税金、保険など） | |
| 6 市の情報発信（多言語での生活情報提供） | |
| 7 国際交流やイベントなどの案内・実施 | |
| 8 多文化共生に関する意見交換やイベント | |
| 9 その他（ | ） |

問18 これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他外国人受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

*アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

回答方法はメールまたはFAXにてお願いいたします

回答期限 令和7年9月30日(火)まで